

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00116 )

事務事業名称	心のバリアフリーの推進	款	04	項	01	目	01	事業	018	整理番号	125	
現担当課名	保健福祉部管理課	係名	庶務係（計画調整担当）			連絡先電話番号	3074		昨年度整理番号	126		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援						予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成20年度											
令和 4年度担当課名	保健福祉部管理課						事業評価区分	一般				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	<input type="radio"/> 区民 <input type="radio"/> 区内で事業を営む個人・法人・団体	根拠法令等	( 1 )	杉並区バリアフリー基本構想
			( 2 )	杉並区心のバリアフリー協力店実施要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	高齢者や障害者、小さな子ども連れの方など支援を必要とする方々への理解を深め、みんなが自然に支えあうことができる「心のバリアフリー」を推進するまちづくりを進める。	活動指標	指標名（ 1 ）	啓発用チラシ・ポスター配布数
			指標説明	チラシまたポスターの作成・配布枚数
			指標名（ 2 ）	
			指標説明	
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	<input type="radio"/> チラシ等の配布により、「心のバリアフリー」の考え方の普及啓発を行う。 <input type="radio"/> 心のバリアフリー協力店（「心のバリアフリー」を心掛けていたり、バリアフリーに配慮した設備を1つ以上備えている「誰もが利用しやすい店」）を普及する。 <input type="radio"/> 区電子地図サービス「バリアフリーマップ」を通して、心のバリアフリー協力店の位置とバリアフリー設備の情報提供を行う。	成果指標	指標名（ 1 ）	心のバリアフリー協力店登録店舗数
			指標説明	バリアフリーに配慮した対応や設備を有している店舗の申請に基づき登録した店舗の数【社会】
			指標名（ 2 ）	「バリアフリーマップ」アクセス数
			指標説明	すぎナビの「バリアフリーマップ」にアクセスした数の合計【社会】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 枚	4,000	2,000	13,600	4,000	8,052	4,000	201.3	96.5
活動指標 ( 2 )	2								
成果指標 ( 1 )	3 店舗	1,012	1,100	1,013	1,100	1,014	1,100	92.2	
成果指標 ( 2 )	4 件	1,664	3,000	5,555	3,000	728	3,000	24.3	
事業費	5 千円	462	704	615	569	549	1,402	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	12,925	8,503	17,937	16,686	16,220	16,636	前年度事業費からの増減理由 普及啓発ポスターの作成枚数を減らしたことにより、減となりました。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	13,387	9,207	18,552	17,255	16,769	18,038		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	276	312	312	245	245	90	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	276	312	312	245	245	90	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	13,111	8,895	18,240	17,010	16,524	17,948	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 125

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	心のバリアフリー協力店ステッカーの作成	200	枚	77
	視覚障害者用音声誘導装置修理			274
	ポスター・チラシによる普及啓発			185
	その他 ( 消耗品の購入 )			13
取組成果	<p>心のバリアフリー協力店の登録店舗数は、商店会へのチラシ配布による登録勧奨活動を行ったことで、前年度と同規模の1,014店舗となりました。</p> <p>また、令和3年度に引き続き、ポスター「ヘルプマークを知っていますか？」を区施設や屋外掲示板に掲示するとともに、商店会へ配布し、啓発活動に取り組みました。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>心のバリアフリー協力店の登録店舗数は、前年度より1店舗増加し、1,014店舗となり、目標未達となっています。その要因としては、登録勧奨チラシの配布により新規登録店舗は着実に増える一方、新型コロナウイルス感染症の影響により廃業する登録店舗も増えていることによるものと捉えています。</p> <p>また、すぎナビ「バリアフリーマップ」のアクセス件数は728件となり目標未達となっています。よりわかりやすい情報発信に努めるとともに、区立施設や鉄道駅などを含めた総合的なバリアフリー情報の提供に向けて、関係所管と検討し、利便性の向上を図っていく必要があります。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 ( 年度末までの見込含む )	<p>令和4年度に引き続き、心のバリアフリー協力店における新規登録を勧奨するため、商店会加盟店舗へ募集活動を実施します。また、心のバリアフリー推進のための普及啓発ポスターは、「手話が必要な方への理解促進」をテーマに、障害者分野と調整を図り作製します。</p> <p>予算の執行状況については、当初計画のとおり執行できる見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>心のバリアフリーの推進のため、今後もポスター等による普及啓発を図っていきます。</p> <p>心のバリアフリー協力店については、廃業した店舗が増えていること等の理由により登録店舗数が伸び悩んでいることから、勧誘方法や範囲の拡充を図る必要があります。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 ) ・対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>本事業については、商店会加盟店舗や心のバリアフリー協力店への通知のほか、概ね区民向けの普及啓発に係る経費です。予算は現状維持としつつ、ポスターの配布場所の変更や区のSNSの活用など、コスト増によらない効果的な周知の手法を検討していきます。</p>	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00174 )

事務事業名称	障害者自立支援サービス			款	04	項	01	目	03	事業	003	整理番号	174
現担当課名	障害者施策課		係名	認定・給付係			連絡先電話番号	1159		昨年度整理番号	175		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成18年度												
令和 4年度担当課名	障害者施策課							事業評価区分	一般				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	支援を必要とする障害者（児）	根拠法令等	( 1 ) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 ( 2 ) 杉並区障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行細則
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	障害者（児）に対し、障害福祉サービス等を適切に支給することで、一人ひとりが地域で安心して、自分らしく生活できることを目指す。	活動指標 指標名（ 1 ） 指標説明 指標名（ 2 ） 指標説明	障害福祉サービス支給決定者数  補装具費支給件数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	支援の必要度を客観的に判断するための障害支援区分を認定し、障害者一人ひとりの状況を勘案しながら安心して生活するために必要かつ適切な障害福祉サービスの支給決定を行う。また併せて障害福祉サービス費、補装具費などの自立支援給付費の支給を行う。	成果指標 指標名（ 1 ） 指標説明 指標名（ 2 ） 指標説明	支給決定者のうちサービスを利用した人の割合 サービス利用者数 ÷ 支給決定者数【行政】  身体障害者手帳所持者のうち、補装具の給付を受けた人の割合 補装具費支給件数 ÷ 手帳所持者数【行政】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度対計画比(%)	令和 4年度予算執行率(%)
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画		
活動指標 ( 1 )	1 人	3,117	3,117	3,195	3,195	3,364	3,500	105.3	96.6
活動指標 ( 2 )	2 件	852	963	790	947	845	918	89.2	
成果指標 ( 1 )	3 %	94.4	96	94.1	96	93.8	96	97.7	
成果指標 ( 2 )	4 %	6.4	6.4	6.4	7.3	6.6	7.0	90.4	
事業費	5 千円	7,392,244	8,099,701	7,866,442	8,458,354	8,173,075	8,542,315	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	116,080	101,186	119,889	105,539	122,691	106,886	
	上記以外の職員	7 千円	4,354	10,158	11,393	9,923	8,459	4,781	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	7,512,678	8,211,045	7,997,724	8,573,816	8,304,225	8,653,982		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	400		
	国・都からの補助金	10 千円	5,384,751	5,561,335	5,890,234	5,987,635	5,999,448	6,067,088	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	5,384,751	5,561,335	5,890,234	5,987,635	5,999,448	6,067,488	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	2,127,927	2,649,710	2,107,490	2,586,181	2,304,777	2,586,494	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 174

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	障害福祉サービス費等の支給	3,364	人	7,098,884
	補装具費の支給	845	件	90,556
	その他 ( 自立支援医療費、区分認定審査会実施ほか )			983,635
取組成果	<p>障害福祉サービスは、日常生活に必要な介護支援を提供する「介護給付」と、自立した生活に必要な知識や技術などを身に付けるために訓練的支援を提供する「訓練等給付」があります。サービスを利用したい方からの相談を受け、個々の状況に応じて必要なサービスの支給決定を行うことで、障害者が必要な支援を受けながら安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与しています。</p> <p>失われた身体の一部をサポートするための装置や道具を作成するための補装具費を支給することで、障害者の日常生活等をより快適に行えるよう支援しています。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>事業所には、障害福祉サービス等が利用者やその家族の生活を継続する上で欠かせないものであり、感染症等が発生した場合でも、利用者に対して必要なサービスが安定的・継続的に提供されることが重要であり、適切なサービス提供が求められます。</p> <p>障害者が地域で自立した生活をするためのグループホームの開設が進んでいることから、共同生活援助の利用者が今後も増えていくことが見込まれますが、グループホームにはサービスの質の確保と地域で一人暮らし等を希望する利用者に対する自立に向けた支援や退去後の定着のための相談支援が求められます。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>就労移行支援及び就労定着支援サービスについて、本人の就労能力や適性等に合った就労先の選択には結びついていない面があることから、障害者本人が就労先・働き方についてより良い選択ができるよう、本人の希望、就労能力や適性等に合った選択を支援する新たなサービスである「就労選択支援」が今後創設されます。</p> <p>就労を希望する障害者のニーズや社会状況が多様化している中で、障害者が働きやすい社会を実現するため、一人一人の障害者の希望や能力に沿った、よりきめ細かい支援を提供することが求められます。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 ( 年度末までの見込含む )	<p>利用者の申請に基づき、介護給付のサービスに必要な障害支援区分の認定を行うとともに、障害支援区分、サービス等利用計画案及び法に定める勘案事項を踏まえて、障害福祉サービスの支給決定を行い、受給者証を発行しています。今年度から支給決定の運用を一部見直し、支給決定時期を毎週とすることで相談からサービス利用までの時間短縮を図り、円滑なサービス利用につながるよう改善を図りました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の改正があり、障害者等の地域生活の支援体制の充実や就労を支援するための施策の強化等により、障害者等が希望する生活を営むことができる社会を実現するための措置を講じる必要があります。</p> <p>また、令和6年度障害福祉サービス等報酬改定において、障害者が希望する地域生活を実現する地域づくり、社会の変化等に伴う障害児・障害者のニーズへのきめ細かな対応、持続可能で質の高い障害福祉サービス等の実現のための報酬等の見直しを主な論点として検討が行われており、改定内容を注視しながら障害者が地域で安心して生活できるよう、個々の状況に応じた障害福祉サービスの適切な支給に努めます。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>法改正や報酬改定の検討内容にも反映されているように、就労移行支援や就労定着支援などの就労系サービスや共同生活援助の利用者が年々増えており、給付費も増加していることから、各障害福祉サービスの利用状況や給付実績を踏まえた予算編成が必要となります。</p>	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00176 )

事務事業名称	障害者の社会参加支援				款	04	項	01	目	03	事業	004	整理番号	175	
現担当課名	障害者施策課		係名	管理係		連絡先電話番号	1139		昨年度整理番号	176					
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成18年度	実行計画事業	目標	05	施策	16	計画事業	03	主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
令和4年度担当課名	障害者施策課								事業評価区分	一般					

## 令和4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	身体障害者、知的障害者、精神障害者 など	根拠法令等	(1) (2)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第77条
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	障害者が住み慣れた地域で、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるようにする。	活動指標	指標名(1) 指標説明 指標名(2)	移動支援事業利用者数 移動支援事業年間実利用者数 移動支援事業延利用時間数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	屋外での移動困難な障害者の社会参加を促すためガイドヘルパーを派遣する。社会参加促進事業（各種講習会、自動車改造費助成等）、意思疎通支援（手話通訳者・要約筆者派遣等）、地域活動支援センター等の利用は、対象者の申請に基づき、各事業の資格要件を判断した上でサービスを給付または助成する。	指標説明	成果指標	移動支援事業年間延利用時間数
		指標説明	指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	移動支援事業利用率 移動支援事業年間利用率【行政】 手話通訳者・要約筆者派遣回数 手話通訳・要約筆者を派遣した回数【行政】

## 指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和4年度	令和4年度
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率(%)
活動指標(1)	1 人	813	1,300	811	1,202	868	1,004	72.2	90.7
活動指標(2)	2 時間	123,817	163,716	140,828	177,300	150,470	162,900	84.9	
成果指標(1)	3 %	70.1	0.0	70.2	82.0	72.2	83.0	88.0	
成果指標(2)	4 回	1,006	1,300	1,073	1,300	1,025	1,300	78.8	
事業費	5 千円	434,711	566,700	520,705	611,992	554,794	616,264	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	51,519	46,587	45,970	37,710	44,169	45,915	令和4年度事業費は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による利用実績の回復の遅れもあり、執行残が発生しました。成果指標(1)は、令和4年度に新たに設定したため、令和3年度の計画(目標値)は0としています。
	上記以外の職員	7 千円	7,256	11,428	11,760	13,414	10,740	10,298	
総事業費(5+6+7)	8 千円	493,486	624,715	578,435	663,116	609,703	672,477		
財源	受益者負担分	9 千円	1,600	2,578	1,846	2,802	2,192	2,804	
	国・都からの補助金	10 千円	231,754	245,440	228,966	275,150	243,828	270,560	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計(9+10+11)	12 千円	233,354	248,018	230,812	277,952	246,020	273,364	
	差引：一般財源(8-12)	13 千円	260,132	376,697	347,623	385,164	363,683	399,113	



# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 175

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	移動支援事業委託	150,470	時間	508,694
	手話通訳者・要約筆記者派遣	1,025	回	10,891
	地域活動支援センター事業 (運営:直営1所、補助事業所1所) の実施	2	所	22,457
	その他 (自動車改造費支援、社会活動支援、代読・代筆サービスほか )			12,752
取組成果	<p>移動支援事業は、新型コロナウイルス感染症に伴う自粛要請の緩和等の影響により、利用者数は86人で令和3年度比57人の増加、年間延べ利用時間は150,470時間で令和3年度比9,642時間の増加となりました。</p> <p>手話通訳者等の派遣回数は1,025回、うち手話通訳者の派遣件数は935回、要約筆記者の派遣件数は90回で、令和3年度からほとんど変化がありませんでした。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>移動支援事業について、令和4年度の利用者数は868人で計画比72% (前年比107%)、年間延べ利用時間150,470時間で計画比85% (前年比107%)となりました。新型コロナウイルス感染症からの回復が遅れ計画値には満たなかったものの、自粛要請の緩和等の影響により増加傾向にあります。</p> <p>障害者の社会参加を促進する基盤となる移動支援事業は、令和2年度に事業を見直したことにより、当面の間は新規利用者が増えると予測しています。また、身近な場所で余暇活動を楽しめる場の拡充や事業の担い手であるガイドヘルパーの育成の強化が求められています。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>手話通訳者・要約筆記者派遣事業の令和4年度の派遣回数は1,025回で目標値の79%にとどまりました。感染リスクの高い病院や個人宅への派遣が伸び悩んだと考えられます。一方で対面での会議や行事の開催が再開しており、長時間の派遣は増加しました。</p> <p>令和5年度からは手話通訳者団体からの要望を受けて謝礼金を増額しました。手話言語条例も制定され、情報保障のためイベント等に手話通訳者・要約筆記者を配置するよう周知しております。また聞こえに悩む当事者に派遣事業の情報を共有し、利用者数の拡大や実績の増加に向けて取り組んでいきます。変化するニーズを的確に捉えて対応ができるよう、今後も当事者団体や通訳者団体と連携しながら事業内容の充実を目指します。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>移動支援事業の令和5年4月から7月の利用者数は842人で前年同月比107%、延べ利用時間は52,887時間で前年同月比103%となっています。利用実績に対する委託料は約1.77億円で前年同月比102%、予算に対しては32%で、年度末には約5.20億円 (予算執行状況93%)となる見込みです。</p> <p>令和5年4月から7月の手話通訳者の派遣状況は391件・790時間となっており、前年度同時期と比較して件数・時間とも約50%の増となっています。また、幹旋件数は前年比38%増の128件となっています。要約筆記は手書きノートテイクの利用は減少していますが、全体投影の件数は約1.5倍、時間は約2倍に増加しています。令和5年7月から新たに始まった遠隔窓口手話システムは、同月中に11件の利用がありました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>移動支援事業は、外出意欲の回復、及び令和3年度の見直しにより、利用者数、延べ利用時間とも増加していくことが見込まれます。</p> <p>手話通訳者・要約筆記者派遣事業は、新型コロナウイルス感染症による制限が緩和したこともあり、個人の依頼や団体会議への派遣依頼が増加し、長時間の派遣も増えていることから、安定的な事業運営のため、委託内容の見直しや手話通訳者への研修の取り組みを拡充していきます。また、手話言語条例の施行を踏まえ、リーフレットや動画作成などを通じた普及啓発、職員向けの研修等を継続的に行うとともに、遠隔窓口手話システムの本格導入に向けて取り組んでいきます。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善) ・対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>移動支援事業は、外出意欲の回復、及び令和3年度の見直しにより、当面は事業コストが拡充していくと予想されます。また、令和6年度に障害福祉サービスの報酬改定が予定されているため、状況に応じて委託料の見直しを検討します。</p> <p>障害者の余暇活動の充実のための取組としては、余暇の外出先のほか、様々な地域資源の情報を障害者・支援者等にわかりやすく発信していきます。</p> <p>意思疎通支援事業は、手話通訳者の処遇改善や人材確保の観点から、手話通訳等派遣センターへの委託費や通訳謝礼金の増額のほか、手話通訳者試験の不合格者に向けたフォローアップ研修を実施する予定です。また、手話の理解促進を促すため、動画作成と研修の実施を引き続き行います。更に、遠隔窓口システムを拡充させ、区民との円滑なコミュニケーションにつなげていきます。このほか、新たな取組として、失語症者向けの意思疎通支援事業の事業化を検討しています。</p>	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00175 )

事務事業名称	障害者の日常生活支援			款	04	項	01	目	03	事業	005	整理番号	176
現担当課名	障害者施策課		係名	管理係		連絡先電話番号	1143		昨年度整理番号	177			
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成18年度												
令和 4年度担当課名	障害者施策課							事業評価区分	一般				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	身体障害者、知的障害者、精神障害者などで、各事業ごとに支援を必要とするもの	根拠法令等	( 1 ) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第77条、 ( 2 ) 杉並区重症心身障害児者在宅レスパイト等訪問看護事業実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	障害者が住み慣れた地域で、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるようにする。	活動指標	日常生活用具の延給付・貸与件数
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	訪問入浴サービス延利用者数
		指標説明	
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	支援を必要とする障害児者に、日常生活用具の給付・貸与、訪問入浴サービス、日帰りショートステイ等のサービスを給付または提供する。重症心身障害児(者)・医療的ケアを要する障害児に、看護師が自宅に出向いてケアを代替し、介護者の休息と就労支援を図る在宅レスパイト訪問看護事業を実施する。	成果指標	レスパイト訪問看護事業延利用者数
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	【行政】
		指標名 ( 2 )	日帰りショート延利用件数
		指標説明	【行政】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度対計画比 (%)	令和 4年度予算執行率 (%)		
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画				
活動指標 ( 1 )	1	6937件	7,522	7,600	6,987	7,100	6,937	7,000	97.7	86.7	
活動指標 ( 2 )	2	人	2,148	2,400	2,162	2,400	2,015	2,070	84.0		
成果指標 ( 1 )	3	人	219	156	266	180	432	600	240.0		
成果指標 ( 2 )	4	件	912	1,521	1,094	1,612	806	1,168	50.0		
事業費	5	千円	135,998	139,142	129,515	155,192	134,502	142,939	特記事項		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6	千円	14,455	28,485	30,118	26,280	27,865	24,954	日常生活用具給付事業支給件数の減により事業費が減になりました。	
	上記以外の職員	7	千円	1,814	1,814	2,021	3,491	2,207	2,207		
総事業費 (5+6+7)	8	千円	152,267	169,441	161,654	184,963	164,574	170,100			
財源	受益者負担分	9	千円	1,782	2,065	1,750	2,040	1,761	1,780		
	国・都からの補助金	10	千円	63,046	67,168	58,518	69,712	63,813	63,648		
	その他の補助金等	11	千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12	千円	64,828	69,233	60,268	71,752	65,574	65,428		
	差引：一般財源 (8-12)	13	千円	87,439	100,208	101,386	113,211	99,000	104,672		

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 176

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	日常生活用具の給付・貸与	6,937	件	86,049
	訪問入浴サービス委託	2,015	回	28,210
	重症心身障害児(者)在宅レスパイト訪問看護事業委託	33	人	9,771
	日帰りショート事業委託	806	件	10,242
	その他 ( 事務費・郵送料 )			230
取組成果	<p>重症心身障害児(者)在宅レスパイト訪問看護事業は、利用者数33人、利用回数432回と大幅に増加しました。訪問入浴サービスは、総実施回数は前年度より147回減少しました。日常生活用具の給付・貸与は総数6,937件で、そのうち排泄管理支援用具が6,701件でした。日帰りショートステイ事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実績が減少していましたが、令和4年度は806件、254日分の利用実績となり、回復しました。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>平成18年の障害者自立支援法施行に伴い、各事業の再編を行いました。平成25年度には、障害者総合支援法が施行されました。日帰りショート事業は、平成26年4月からニーズの高かった未就学児を新たに対象とし事業を拡充しました。事業者の人員確保や送迎などを望む声があります。</p> <p>平成26年度に在宅レスパイト訪問看護事業を開始しました。令和3年9月医療的ケア児支援法が施行されレスパイトに加え就労支援の目的が加わり対象が拡大したため、利用者が急増しています。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>区は、医療的ケア児の相談体制を整備したので、本事業の周知等もすすみ、今後も利用が促進されることが予測されます。日常生活用具の給付品目については、利用者からの要望等に的確に対応するため、毎年、給付品目等を見直しています。</p> <p>訪問入浴サービスについては、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響による従事者の看護師不足により十分なサービスが提供できなかったことから、令和4年度から複数事業者との契約を行うことで、確実にサービスを届けられるよう制度の充実を図りました。</p>
現年度の実績・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>在宅レスパイト訪問看護事業は、在宅で生活する医療的ケア児が増えていることに加え、対応する訪問看護ステーションも増えていることから、ここ数年実績が増加しています。</p> <p>日常生活用具の給付・貸与及び訪問入浴サービス事業については、いずれも申請に基づき提供するもので、実績は年度ごとに増減しています。</p> <p>日帰りショートステイについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用件数は年度ごとに増減しています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>日常生活用具の給付品目について、利用者からの要望等を踏まえ検討会を行い、実態に合わせたストマ装具の基準額増の見直しを行う予定です。</p> <p>在宅レスパイト訪問看護事業については、令和4年度末の東京都の要綱改正により、年間の利用上限が96時間から144時間に変更されました。このほか、学校等での派遣についても利用を可能とすること等によって、前年度比で1.5倍で利用が増えており、医療的ケア児の保護者の負担軽減につながっています。</p> <p>日帰りショートステイについては、利用者のニーズに沿った体制整備のため、利用者からの要望等について検討していきます。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>訪問入浴については、令和4年度から複数事業者と契約を行うことにより、利用者が事業者を選べるようになったため、満足度の向上と申請者の増加を見込んでいます。</p> <p>日常生活用具の給付品目について、利用者からの要望等を踏まえ検討会を行い、実態に合わせたストマ装具の基準額増を見込んでいます。</p> <p>在宅レスパイト訪問看護事業については、年間利用上限時間の変更に伴う利用実績の増加を見込んでいることから、大幅な予算の増額が必要です。</p> <p>日帰りショートステイについては、年間利用予測を見込んだ予算額が必要です。</p>	



# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00177 )

事務事業名称	障害者利用者負担軽減			款	04	項	01	目	03	事業	006	整理番号	177
現担当課名	障害者施策課		係名	管理係			連絡先電話番号	1144		昨年度整理番号	178		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成19年度												
令和 4年度担当課名	障害者施策課							事業評価区分	一般				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	補装具が必要な乳幼児・義務教育児童の保護者、身体障害者手帳（聴覚障害）の交付対象とならない中等度難聴児の保護者	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	杉並区児童補装具費助成事業実施要綱 杉並区中等度難聴児発達支援事業実施要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	障害児を養育する保護者の負担を軽減し、必要とするサービスを受けやすくすることで、一人ひとりが地域で安心して自分らしく生きていけることを目指す。	活動指標 指標名（ 1 ） 指標説明 指標名（ 2 ）	義務教育就学児補装具費自己負担助成件数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	乳幼児・義務教育児童の補装具費の保護者負担額を全額助成する。 身体障害者手帳（聴覚障害）の交付対象とならない中等度難聴児に対して、補聴器の購入費用の一部を助成する。	指標説明 成果指標 指標名（ 1 ） 指標説明 指標名（ 2 ） 指標説明	義務教育就学児補装具費自己負担助成額 義務教育就学児までの障害児の補装具の給付にあたり、保護者の負担を軽減した額【行政】

## 指標、総事業費 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 件	203	252	218	220	299	250	135.9	79.4
活動指標 ( 2 )	2								
成果指標 ( 1 )	3 千円	6,871	4,662	7,045	5,391	6,149	6,027	114.1	
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	8,378	7,829	7,825	9,261	7,355	9,047	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	340	340	334	334	166	166	義務教育就学児補装具費自己負担助成額の実績が当初の想定を下回ったことにより、執行率が79.4%となりました。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	8,718	8,169	8,159	9,595	7,521	9,213		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	685	685	685	685	685	750	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	685	685	685	685	685	750	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	8,033	7,484	7,474	8,910	6,836	8,463	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 177

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	義務教育就学児補装具自己負担助成	299	件	6,149
	中等度難聴児補聴器購入自己負担助成	19	件	1,205
	その他 ( 消耗品の購入、郵券購入ほか )			1
取組成果	<p>義務教育就学児童の補装具費自己負担助成は、件数及び事業費ともに目標値を上回りました。前年度において件数が増加した一方で、補装具は品目により助成額が異なっているため、事業費は約90万円の減となりました。</p> <p>また、中等度難聴児の補聴器購入費の一部助成は、年度ごとに増減があり、令和4年度は昨年度に比べて増となっています。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>義務教育就学児童の補装具費自己負担助成について、平成30年4月から国で導入された補装具費支給制度における「借受け」は、まだ品目等が限られており進んでいないのが現状です。</p> <p>中等度難聴児の補聴器購入自己負担助成は、高度難聴用耳かけ型の申請が多く見られました。身障手帳の交付対象にならない中等度難聴児が対象であるため、対象者の把握が非常に難しい状況にあります。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>義務教育就学児童の補装具費自己負担助成については、申請件数は例年並みの推移となっており、大きな変化はないと想定されます。</p> <p>中等度難聴児の補聴器購入自己負担助成については、現時点では申請1件であり、他にも3件程度相談がきている状況です。例年10人前後の人が利用しているので、例年並みと想定されます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>義務教育就学児童の補装具費自己負担助成については、申請件数は比較的安定して推移しているため、引き続き事業を継続していきます。</p> <p>中等度難聴児の補聴器購入自己負担助成については、身障手帳の交付対象にならない中等度難聴児が対象であるため、対象者の把握が非常に難しい状況ではありますが、例年一定程度の申請があるため、引き続き事業を継続していきたいと考えています。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>義務教育就学児童の補装具費自己負担助成については、申請件数が比較的安定して推移しているため現状維持とする予定です。</p> <p>中等度難聴児の補聴器購入自己負担助成については、申請件数が年度で10人程度と母数が少ないため、年度によって上下がありますが、現時点では現状維持とする予定です。</p>	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00178 )

事務事業名称	障害者福祉の啓発			款	04	項	01	目	03	事業	007	整理番号	178
現担当課名	障害者施策課		係名	管理係			連絡先電話番号	1143		昨年度整理番号	179		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和51年度												
令和 4年度担当課名	障害者施策課							事業評価区分	一般				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	区内在住で障害者手帳を取得している障害者、支援者及び関係機関。障害者福祉推進連絡協議会委員。	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	障害者基本法第5、7、23条 杉並区障害者福祉推進連絡協議会設置要綱
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	障害のある人もない人も共に参加するイベントなどを通じて、全ての人がそれぞれの人格と個性を尊重し、支え合う共生社会の実現を目指す。 障害者の生活に役立つ情報を正確かつ迅速に提供し、必要な情報を誰でも容易に得ることを可能にする。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	「ふれあいフェスタ」参加団体・作業所数  「ふれあい美術展」出展数
事業内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	障害者福祉及び関連施策の推進を図るため、杉並区障害者福祉推進連絡協議会を開催する。 障害者の生活支援サイト「のーまらいふ杉並」を運営する。 「障害福祉のしおり」を3年ごとに発行する。 「ふれあいフェスタ」などの各種催しを障害者週間事業として実施する。 障害者基礎調査を3年ごとに実施する。 全国在宅障害児・者実態調査を5年ごとに実施する。( 都からの委託業務 )	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	障害者生活支援サイト「のーまらいふ杉並」年間アクセス数 【行政】 障害者福祉推進連絡協議会開催回数 【行政】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 組	29	50	29	50	31	50	62.0	82.2
活動指標 ( 2 )	2 点	70	300	130	300	109	300	36.3	
成果指標 ( 1 )	3 件	228,670	230,000	219,382	230,000	217,594	230,000	94.6	
成果指標 ( 2 )	4 回	1	2	2	2	2	2	100.0	
事業費	5 千円	2,538	2,894	1,296	21,101	17,351	6,820	特記事項	
人件費	常勤職員分 ( 再任用含 )	6 千円	21,258	21,258	20,858	22,594	23,370	26,608	「障害福祉のしおり」の印刷請負及び障害者基礎調査に係る業務委託の落札差金額により委託費に執行残が生じました。
	上記以外の職員	7 千円	1,451	1,451	1,470	1,470	1,839	1,839	
総事業費 ( 5+6+7 )	8 千円	25,247	25,603	23,624	45,165	42,560	35,267		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	1,017	1,457	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	124	75	0	
	特定財源計 ( 9+10+11 )	12 千円	0	0	0	1,141	1,532	0	
	差引：一般財源 ( 8-12 )	13 千円	25,247	25,603	23,624	44,024	41,028	35,267	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 178

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	障害者週間事業の開催			1,037
	障害者福祉推進連絡協議会の開催			243
	「障害福祉のしおり」作成			8,049
	障害者基礎調査の実施			7,272
	その他 ( 管理事務費・郵送費ほか )			750
取組成果	<p>障害者福祉関連情報に特化したサイト「のーまらいふ杉並」については、障害者が利用しやすいサイト構成、必要な情報をタイムリーに提供できるよう努めました。また、3年に一度発行している「障害者のてびき」は「障害福祉のしおり」と名称を変え、内容の改定をしたほか、新たにデジタルブック版の作成も行いました。令和4年12月には、区と障害者団体連合会が共催して障害者週間事業を実施し、感染症対策を講じながら、ふれあいフェスタ、ふれあい美術展、団体・施設の活動パネル展などを開催しました。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>「ふれあいフェスタ」を始めとした障害者週間事業については、コロナ禍以降、規模を縮小しつつもイベント内容を工夫して開催していますが、来場者数はコロナ前と比較して依然として少ない状況が続いています。「のーまらいふ杉並」については、障害者が利用しやすいサイト構成、必要な情報をタイムリーに提供できるよう努めておりますが、アクセス数は令和元年度以降ほぼ横ばいとなっています。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>障害者福祉推進連絡協議会は、感染予防の観点から対面での参加とオンラインでの参加の両方を用いることで、協議会委員の参加しやすさを促進し、障害者福祉施策の計画策定・推進に関することなどを広く話し合うほか、障害者就労に関する報告やコロナワクチン接種に関する情報提供等を行いました。</p> <p>平成19年度より実施されている当協議会ですが、他の法で設置が義務付けられている会議体と所掌事項等の重複が見られるため、今後のあり方についての検討が必要です。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>「のーまらいふ杉並」については、サイト内容の充実やウェブアクセシビリティにも配慮しながら、障害者福祉関連の情報を集約し、よりわかりやすく発信しています。</p> <p>また、「ふれあいフェスタ」を始めとした障害者週間事業については、駅構内や路線バス内、スーパーマーケット等にポスターを掲示するなど、より多くの区民の意識啓発につながるよう周知に努めるとともに、イベント内容を工夫していきます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>「のーまらいふ杉並」の運営や「障害福祉のしおり」の発行にあたっては、障害特性に合わせた情報提供に努めていきます。</p> <p>また、サイトやイベントなど様々な方法で、より多くの区民・事業者等に障害特性の理解や合理的配慮の提供の促進に向けた働きかけを積極的に行っていきます。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>障害者週間事業については、障害のある方とない方の交流を契機に、障害理解を更に深めるためのイベントです。より多くの区民が参加できるよう、実施方法や周知を工夫して取り組んでいきます。</p> <p>障害者福祉推進連絡協議会については、その機能等を「障害者差別解消支援地域会議」に統合し、「(仮称)障害者権利擁護・共生社会推進連絡会」として障害者への差別解消に資する取組も含め、障害者の権利擁護の推進と共生社会の実現に向けた取組を計画的に進めていきます。</p>	



# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00179 )

事務事業名称	障害者団体への助成			款	04	項	01	目	03	事業	008	整理番号	179
現担当課名	障害者施策課		係名	管理係			連絡先電話番号	1144		昨年度整理番号	180		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和39年度												
令和 4年度担当課名	障害者施策課							事業評価区分	一般				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	区内の障害者、一般区民、心身障害者団体	根拠法令等	( 1 ) 障害者基本法第3条、第4条 ( 2 ) 杉並区心身障害者団体助成要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	障害者の団体活動を支援することにより、障害者の自立や社会参加の機会を拡大する。	活動指標	団体の事業開催回数
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	団体事業活動の参加者数
		指標説明	
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	心身障害者団体の運営や活動に係る経費の一部を助成する。 心身障害者の生涯学習事業に係る経費の一部を助成する。 障害者と健常者の相互理解を促進する「ふれあい運動会」を実施する。	成果指標	活動参加者数対前年度比
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	【行政】
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 回	19	92	45	90	66	90	73.3	67.7
活動指標 ( 2 )	2 人	1,595	2,395	1,547	2,347	1,471	2,271	62.7	
成果指標 ( 1 )	3 %	63.8	92.4	96.9	97.9	95.0	96.7	97.0	
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	4,177	11,203	6,038	11,428	7,741	9,983	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	8,503	8,503	8,343	8,343	5,823	5,823	新型コロナウイルス感染症による、団体の事業の一部で、中止や規模の縮小されたため、執行残となりました。 ふれあい運動会が実施されなかったことにより事業費が減になりました。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	12,680	19,706	14,381	19,771	13,564	15,806		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	12,680	19,706	14,381	19,771	13,564	15,806	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 179

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	心身障害者団体への運営経費の助成	15	団体	7,733
	その他 ( 消耗品の購入、郵券購入ほか )			8
取組成果	心身障害者団体への運営経費等の一部を助成することにより、障害者の方々の社会参加機会の提供につなげています。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、宿泊訓練や研究活動などの団体の活動が減少しました。また、ふれあい運動会については、コロナ禍を踏まえ、実施を取りやめました。			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	心身障害者団体は、当初10団体から始まり、現在は15団体に対して運営活動経費の一部を助成しています。 ふれあい運動会は東京オリンピックが開催された昭和39年度に開始し、平成4年からは一般区民を含めた実行委員会形式により実施しています。 障害者の自立や社会参加の機会を促進するため、団体助成を維持してほしいという声が多く、社会情勢や各団体の実態に即した支援が求められています。
課題・分析 ( 2 / 2 )	各団体の新規加入者は少なく、また現会員の高齢化も進行し、会員数や実活動人数の減少が顕著となっています。個々の団体に対し適切に支援をしていくことに加え、障害者団体連合会やその他の関係機関と連携しながら、団体活動の周知や障害のある人となない人との交流の場を広げていくなど、団体活動を支援していきます。
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	令和5年度は杉並区心身障害者団体助成要綱に基づき、14団体に対し助成を行いました。(1団体からは申請なし)前年度に比べ宿泊訓練を実施する団体が増加傾向にありました。団体の活動は増えていますが、運営助成の見直しなどを行ったことで前年度よりも申請総額は減少しています。
事業の方向性・改善策	団体助成については、団体活動の一助として、その時々々の社会情勢や団体の実情に見合った適切な支援ができるよう、適宜、運営事務経費等助成金分配基準等の見直しを図っていく必要があります。 また、多くの団体では会員の高齢化等により会員数の減少がみられます。障害者の自立や社会参加の機会を広げるため、団体の活動が活性化するよう活動内容の相談や働きかけを実施しています。 ふれあい運動会は令和2年度から令和4年度まで中止しましたが、障害のある人となない人が交流し、障害者の積極的な社会参加の推進や相互理解に寄与することから、令和5年度は、実行委員会を中心に感染症対策を講じながら、10月に実施します。

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	令和5年度からコロナ禍以前の活動ができるように、実施が見送られていた活動を再開するなど障害者団体も日々工夫をして活動しています。会員の高齢化や障害によっては、宿泊を要しない日帰りでの活動の方が負担も少なく、実施しやすいという声寄せられました。 今後も引き続き、障害者団体との意見交換ををもとに助成対象の見直しや支援制度の改善を行い、活動の支援を行っていきます。	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00181 )

事務事業名称	障害者通所施設支援事業			款	04	項	01	目	03	事業	010	整理番号	180
現担当課名	障害者生活支援課		係名	管理係		連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	181			
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成19年度												
令和 4年度担当課名	障害者生活支援課							事業評価区分	一般				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	障害者総合支援法に規定する障害福祉サービス事業所を運営する法人及びその施設に通所する個人	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 杉並区障害者通所施設サービス推進事業補助金交付要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	障害者総合支援法に基づき生活介護、自立訓練、就労移行支援又は就労継続支援のサービス事業所を運営する法人に対し、必要な経費を助成することにより、施設の安定した経営と通所者の負担軽減を図る。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	送迎サービス支援対象施設数 日中活動系サービス推進事業対象施設数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	サービス推進事業補助金の算定基準に基づき、事業所の運営に必要な経費を助成する。送迎サービスを実施する民営施設に対して、その費用の全部又は一部を補助する。小規模作業所又は精神障害者共同作業所から移行した事業所に対して、施設の借り上げ費を補助する。 。通所者に対して交通費等の負担軽減を行っている法人に、その費用を補助する。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	送迎サービス支援対象施設通所者数 【行政】 日中活動系サービス推進事業対象施設通所者数 【行政】

## 指標、総事業費 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 所	7	8	7	7	7	7	100.0	92.1
活動指標 ( 2 )	2 所	34	34	34	34	34	37	100.0	
成果指標 ( 1 )	3 人	64	126	77	113	82	109	72.6	
成果指標 ( 2 )	4 人	1,317	1,165	1,331	1,161	1,343	1,222	115.7	
事業費	5 千円	438,485	488,796	444,982	487,500	449,107	472,719	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	3,176	4,026	4,133	6,174	6,405	6,405	
	上記以外の職員	7 千円	726	726	735	735	1,103	1,103	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	442,387	493,548	449,850	494,409	456,615	480,227		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	282,941	309,406	280,964	306,590	282,384	314,947	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	282,941	309,406	280,964	306,590	282,384	314,947	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	159,446	184,142	168,886	187,819	174,231	165,280	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 180

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	通所サービス利用促進事業 (送迎サービス支援) の実施	7	所	7,138
	日中活動系サービス推進事業の実施	34	所	282,607
	訓練等給付交通費等助成	33	所	43,261
	訓練等給付施設借上費助成ほか	18	所	116,069
	その他 (事務費、郵送料 )			32
取組成果	<p>障害者通所施設への助成を通じて、施設の円滑な運営と障害者の日中活動の支援をしました。令和4年度は、通所サービス利用促進事業を7所に、日中活動系サービス推進事業を34所に実施しました。訓練等給付交通費等助成については、交通機関を利用する通所者がいなかった施設や、障害福祉サービス等報酬における食事提供加算加算の対象となった施設など、区の補助対象とならなかった施設が2施設あったことから、令和3年度から2施設減の33施設となりました。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>区では障害者通所施設に対して、事業者の家賃補助等を行う「訓練等給付施設借上費助成」、通所者の交通費や給食費を助成する「訓練等給付交通費及び給食費助成」、通所者の送迎支援に補助を行う「送迎支援事業」、運営経費を補助する「障害者日中活動系サービス推進事業」を実施しています。</p> <p>平成23年度末、障害者総合支援法に基づく新体系への移行が完了し、現在は移行した施設に運営費等の助成を行い円滑な運営が行われています。</p> <p>交通費や給食費の経済的負担が軽減されることで、障害者が施設に通所しやすくなることから、引き続き助成を継続してほしいとの声があります。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>各障害者通所施設には、補助金に頼らない自立した運営を行うことが期待されていますが、新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響により、事業者の経営がひっ迫しており、今後の障害福祉サービス等報酬の動向を踏まえながら、補助のあり方を見直していく必要があります。</p> <p>通所者の高齢化・重度化に伴い、通所者の送迎サービスの需要が高まっています。</p> <p>家賃補助については、新規開設事業所には、開設後の収支も踏まえた上で、新規開設を行っていることを理由に、家賃補助を行っていないこともあり、一部の事業所から公平性について意見が出ています。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和5年度において、新規開設となった施設が2施設あることから、通所者の交通費や給食費を助成する「訓練等給付交通費及び給食費助成」及び運営経費を補助する「障害者日中活動系サービス推進事業」が増加する見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響により、事業者の経営がひっ迫しており、今後の障害福祉サービスの報酬改定等の動向を踏まえながら、既存の補助制度の見直しも含め、補助のあり方を検討していきます。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>本事業は、各施設の安定した運営を支援するため、運営費等の補助を行っているものですが、近年、通所施設が増加していることから、予算額も増加する見込みです。</p> <p>また、交通費等の助成については、障害者団体等からの要望も踏まえながら、より実態に合わせた、適切で効果的な補助を実施していきます。</p> <p>なお、報酬改定により補助単価の変更等が必要になった際は、補正予算などにより対応することを検討します。</p>	



# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00182 )

事務事業名称	公益財団法人 杉並区障害者雇用支援事業団				款	04	項	01	目	03	事業	011	整理番号	181	
現担当課名	障害者生活支援課		係名	管理係	連絡先電話番号	2275			昨年度整理番号	182					
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成10年度	実行計画事業	目標	05	施策	16	計画事業	02							
令和 4年度担当課名	障害者生活支援課								事業評価区分	一般					

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	公益財団法人杉並区障害者雇用支援事業団	根拠法令等	( 1 ) 杉並区公益財団法人に対する助成に関する条例 ( 2 ) 障害者の雇用の促進に関する法律
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	公益財団法人障害者雇用支援事業団が、その設立目標である障害者の雇用支援に関する事業を活発に行なうことができるよう、財団運営の安定に資する。	活動指標	雇用支援対象者数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	公益財団法人杉並区障害者雇用支援事業団に対し、必要な経費を助成する。 区市町村障害者就労支援事業を委託し、実施する。	指標名 ( 1 )	就労移行支援事業登録者数 + 新規登録者数
		指標名 ( 2 )	職場定着支援件数
		成果指標	雇用支援対象者における就職者の割合
		指標名 ( 1 )	事業団からの就職者数 ÷ 雇用支援対象者数【行政】
		指標名 ( 2 )	就職後36か月経過時の就労継続者率
		指標説明	事業団で職場定着支援を受けている者のうち、就職後36か月経過時の就労継続者の率【行政】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 人	116	160	91	160	110	160	68.8	94.5
活動指標 ( 2 )	2 件	6,568	6,600	7,185	7,900	5,947	8,690	75.3	
成果指標 ( 1 )	3 %	46.6	60	34.1	60	37.3	60	62.2	
成果指標 ( 2 )	4 %	55.2	70.0	49.2	70.0	67.9	75.0	97.0	
事業費	5 千円	84,320	96,935	91,007	95,260	90,006	94,416	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	9,949	10,204	8,927	11,513	10,980	10,980	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	94,269	107,139	99,934	106,773	100,986	105,396		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円	2,367	2,378	2,424	2,306	2,324	2,333	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	2,367	2,378	2,424	2,306	2,324	2,333	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	91,902	104,761	97,510	104,467	98,662	103,063	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 181

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	運営費助成			15,446
	区市町村就労支援事業委託			74,560
	その他 ( )			
取組成果	<p>公益財団法人杉並区障害者雇用支援事業団が行う雇用支援事業の令和4年度新規登録者数は87人 (前年度比15人増) となりました。</p> <p>職場定着支援の件数は5,947件と、前年度に比べて減となりましたが、電話での相談が減少となった一方で、職場訪問による相談は前年度に比べ154件増となりました。</p> <p>職場定着支援を受けている登録者の就職後36か月経過時の就労継続者率は、2年度55.2%、3年度49.2%、4年度67.9%と推移しています。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>職場定着支援における支援件数は全体としては減少しましたが、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、職場訪問による支援を強化した結果、件数が増加しました。直接企業に訪問し相談等の支援を行うことで、より安定した就労継続につながり、前年度からの就労継続者数、就職後36か月経過時の就労継続者率は増加となりました。今後も障害者雇用率の引き上げを見据え、就労者・企業双方への相談・助言を引き続き行う必要があります。また、重度障害者等の就労促進や、在宅就労、短時間就労など多様な働き方に対する支援の充実も求められています。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>職場定着支援は企業への定期的な訪問等による障害特性の理解促進と就労者への相談・助言等、就労後のフォローをきめ細やかに行っており、支援件数は前年度同時期より438件増の2,936件 ( 8月末日時点 ) となっています。さらに令和6年度の障害者雇用促進法改正に伴う法定雇用率の引き上げを見据え、障害者一人ひとりの能力や特性等に合った雇用が進むよう、障害特性等の理解を深めるためのセミナーの開催や企業等の開拓を強化し取り組んでいます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>公益財団法人杉並区障害者雇用支援事業団は、障害者が安心して働き続けるために、障害者・企業双方への相談・助言等にきめ細やかに応じるとともに、公共職業安定所、企業、区内就労支援事業所、特別支援学校等との情報共有や連携を図るための雇用支援ネットワークの運営等、引き続き区内の障害者就労支援の中核機関としての役割が求められます。</p> <p>障害者雇用促進法の改正に伴い、令和6年度から障害者雇用率の引き上げや、重度障害者等の短時間就労者における雇用率への算定が予定されることから、障害者の就労機会の拡大に向けて、区と事業団が連携し、障害者・企業双方への支援を充実していきます。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善) ・対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>障害者雇用促進法の改正等、障害者雇用を取り巻く環境は大きく変化し、障害者・企業双方からの相談・助言等は増加すると見込まれます。民間就労移行支援事業所では、設備面の不備や支援力等により重度障害者への就労支援は進んでいないため、公益財団法人杉並区障害者雇用支援事業団において実施している重度障害者スタートアッププログラムを通じて、重度障害者への就労支援に取り組むほか、短時間雇用等を含む多様な就労形態の確保に向け、企業に対する障害者雇用促進を強化します。</p>	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00197 )

事務事業名称	障害者手帳の交付等			款	04	項	01	目	03	事業	026	整理番号	184
現担当課名	障害者施策課		係名	障害福祉サービス係			連絡先電話番号	1175		昨年度整理番号	185		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和47年度												
令和 4年度担当課名	障害者施策課							事業評価区分	一般				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	身体障害者手帳の交付を受ける者 愛の手帳（知的障害）の交付を受ける者	根拠法令等 ( 1 ) 身体障害者福祉法第9条の2 ( 2 ) 知的障害者福祉法第10条
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	障害者手帳が交付されることで受けられる様々な支援により、障害者（児）が地域において自立した日常生活を送ることができる。	活動指標 指標名（ 1 ） 身体障害者手帳所持者数 指標説明 指標名（ 2 ） 愛の手帳（知的障害）所持者数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	障害者手帳を交付するとともに、障害の状態により必要な補装具や日常生活支援サービスの相談を行う。	指標説明 成果指標 指標名（ 1 ） 身体障害者相談延件数 指標説明 【行政】 指標名（ 2 ） 知的障害者相談件数 指標説明 【行政】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)	
活動指標（ 1 ）	1 人	12,634	12,637	12,278	12,537	12,817	12,900	102.2	93.6	
活動指標（ 2 ）	2 人	2,715	2,796	2,768	2,810	2,889	3,000	102.8		
成果指標（ 1 ）	3 件	17,606	18,134	16,884	17,560	17,664	17,700	100.6		
成果指標（ 2 ）	4 件	406	418	3,400	3,450	4,348	4,400	126.0		
事業費	5 千円	970	1,247	1,114	1,369	1,282	1,473	特記事項		
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	52,549	32,311	33,455	26,698	33,771	27,117		
	上記以外の職員	7 千円	1,814	1,451	1,470	2,940	2,942	3,310		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	55,333	35,009	36,039	31,007	37,995	31,900			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0		
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	55,333	35,009	36,039	31,007	37,995	31,900		

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 184

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	障害者手帳関係郵送料等事務費			1,282
	その他 ( )			
取組成果	<p>障害者と障害児の保護者からの申請により、障害者手帳の交付を行いました。また、手帳を持つことで受けられる様々な福祉サービスを案内するとともに、補装具や日常生活用具・自立支援医療（更生医療）・障害福祉サービス等の相談対応を行いました。令和4年度の手帳やサービスに関する申請などの相談件数は、身体障害者17,664件、知的障害者4,348件でした。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>障害者手帳所持者の割合は、区の総人口に対し身体障害は2.23%、知的障害は0.50%です。身体障害の種別では肢体不自由が最も多いですが、近年は、心臓や腎臓などの内部障害を持つ方の割合が増加しています。障害者手帳は東京都による認定のため、申請から交付までに時間を要することから、迅速な対応が求められています。令和3年度には障害者相談の窓口を統合する組織改正を行い、手帳の交付から各種サービスの手続きや相談がワンストップで出来るようになりました。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>障害者手帳（身体及び知的）には、有効期限がないため、事業対象者が大幅に変動することはありませんが、身体障害者手帳所持者は65歳以上の高齢者が65.7%を占めている状況です。愛の手帳については、知的障害に対する認知度が高くなってきたことから、増加していくことが予測されます。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込含む）	<p>障害者手帳（身体及び知的）の手帳の相談・申請窓口を区役所に統合したことにより、日々多くの区民の方が相談に来庁されています。この事業では、障害者手帳の手続きに関連した業務で利用する封筒などの需用費、郵送料などの役務費が主となり、ほぼ予定通りの執行状況となっております。</p>
事業の方向性・改善策	<p>障害者手帳の交付や各種サービスの案内については、適切かつ迅速に対応していきます。また、返信用封筒をこれまでより多く作成し、サービスの更新時等に添付することによって、申請における利便性向上を図っていく予定です。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>各種サービスの申請者の利便性向上のため、返信用封筒をこれまでよりも多く作成していきたいと考えており、需用費を増やす予定です。</p>	



# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00198 )

事務事業名称	障害者福祉会館事業運営			款	04	項	01	目	03	事業	027	整理番号	185
現担当課名	障害者生活支援課		係名	管理係		連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	186			
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和57年度												
令和 4年度担当課名	障害者生活支援課							事業評価区分	一般				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	障害者福祉会館運営協議会及び事業の利用者	根拠法令等	( 1 ) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 ( 2 ) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	障害者福祉会館の部屋の貸し出し等、利用頻度を高める。 障害者福祉会館利用者の健康増進、相互交流を図る。	活動指標	会議室の利用件数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	障害者福祉会館の維持管理及び事業運営等の業務を杉並障害者福祉会館運営協議会に委託する。 福祉会館まつり等行事、各種教室事業等自主事業への補助を行う。	指標名 ( 1 )	会議室の利用延べ人数
		指標説明	
		成果指標	会議室の開館日に対する利用率
		指標名 ( 1 )	各会議室の利用件数 ÷ 年間利用可能部屋数 × 100の平均値【行政】
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度対計画比 (%)	令和 4年度予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画		
活動指標 ( 1 )	1 件	2,600	3,000	2,788	4,000	2,812	4,000	70.3	94.4
活動指標 ( 2 )	2 人	23,116	25,000	28,853	35,000	31,146	35,000	89.0	
成果指標 ( 1 )	3 %	41.3	50	53.9	60	54.3	60	90.5	
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	68,037	79,154	74,679	79,937	75,478	81,621	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	3,470	4,235	2,794	4,422	2,745	2,745	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	71,507	83,389	77,473	84,359	78,223	84,366		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	71,507	83,389	77,473	84,359	78,223	84,366	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 185

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	管理運営委託	1	館	46,366
	区の補助事業による福祉会館まつり等各種催物助成	1	館	2,265
	運営協議会運営補助	1	館	691
	送迎用バス運行業務委託	1	館	25,872
	その他 ( 会館運営事務費 )			284
取組成果	<p>野外訓練や夏まつり、ボランティア研修会は、新型コロナウイルスの感染拡大の懸念から、前年度に引き続き中止となりました。一方で手話講習会や各種教室は感染対策を講じながら開催されるなど、会館の利用者数が0.9%、会議室の利用者率が7.9%増加しました。令和3年度は中止した料理教室やユニカール教室も開催でき、各教室への参加者も増えました。また、秋のお楽しみ会として、規模を縮小しながらも会館まつり事業を再開しました。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>障害者福祉会館の運営を受託する障害者福祉会館運営協議会は、区からの受託事業として手話講習会の実施やパソコン講習会等、障害者の自立や社会参加を促進する事業を行い、区の障害者支援施策において重要な役割を担っています。また、区の委託事業とは別に自主事業として福祉会館まつりや各種催物を実施しています。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>コロナ禍による生活様式の変化や高齢化に伴う障害者の増加等、社会環境の変化を受けて利用者のニーズの多様化が予想されることから、利用者が求めている事業について、情報収集や分析に努め、ニーズや社会状況に合った事業の検討・実施に努める必要があります。今後も運営協議会と連携して、障害当事者や支援者が活動するための拠点としての役割を果たせるよう、活動支援の充実に努め、利用者の増加と利用満足度の向上を図ることが求められています。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和5年8月までに障害者の社会参加や交流のための区の補助事業として、陶芸やスポーツの教室、スポーツ振興財団との共催でズンバ教室等を開催しました。体や手先を動かす催し物もあり、参加者の運動機能を高められ参加者にも好評でした。</p> <p>一方、野外活動や夏まつりについては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のリスクが懸念されるため、中止となりました。9月以降も障害者の社会参加を促す各種教室を引き続き行うほか、ダーツやボンダンス教室などの新しい取り組みも実施します。</p>
事業の方向性・改善策	<p>利用者の方が何度も足を運んでくれるよう、近隣の方も多く参加する地域に根差した教室の開催を継続していきます。また、レクリエーション行事として秋のお楽しみ会やクリスマス音楽会の開催を予定しており、昨年度より多くの方が行事に参加することが見込まれます。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に配慮して、引き続き事業を運営していきます。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善) ・対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>各種講習会は参加者の声を参考にして、内容を検討してより効果のあるものを今後も実施していきます。令和6年度予算のレクリエーション行事費について、コロナ禍で事業のあり方を見直した結果、夏祭りや秋の会館まつりの開催時期が近いことから、1つに統合して開催することを予定しています。</p> <p>また、バスの運行規則である道路運送法が厳格化され、特定旅客自動車の運行範囲及び乗務員の服務が規定されました。そのため、従来通りのバス運用が難しくなり、バス貸し切りの費用の増額となることが見込まれますが、既存経費の見直しを行うことで、予算額は前年度と同規模になる予定です。</p>	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00199 )

事務事業名称	視覚障害者会館事業運営			款	04	項	01	目	03	事業	028	整理番号	186
現担当課名	障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	187		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和57年度												
令和 4年度担当課名	障害者生活支援課							事業評価区分	一般				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	はり、きゅう、マッサージの免許を有する視覚障害者で、自営や雇用が困難な人 視覚障害者及び家族、ボランティア団体	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	三療 (はり、きゅう、マッサージ) の免許を有する視覚障害者で、自営や雇用されることが困難な人に施術の場を提供し、自立の支援を行う。 ○視覚障害者を対象に、教養・レクリエーション事業として点字やICT講習会、生活支援講座などの講習会を行い、視覚障害者の日常生活の向上を図る。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	三療 (はり、きゅう、マッサージ) の利用者数 講習会実施回数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	視覚障害者会館の維持管理及び運営等の業務をNPO法人杉並区視覚障害者福祉協会に委託する。 三療 (はり、きゅう、マッサージ) の施術の場の提供による視覚障害者への就労支援を行う。 ○視覚障害者及び視覚障害者をサポートするためのボランティアを対象にしたICT講習会、点字教室等の講座を実施する。 ○視覚障害者の文化教養の向上と福祉の理念を学習するための講演会等を実施する。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	利用率 三療施術実施時間 ÷ 年間三療施術実施可能時間【行政】 講習会参加者数 講習会参加者数【行政】

## 指標、総事業費 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度 対計画比 (%)	令和 4年度 予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画		
活動指標 ( 1 )	1 人	897	1,500	1,087	1,500	1,236	1,500	82.4	90.9
活動指標 ( 2 )	2	27	45	35	45	55	45	122.2	
成果指標 ( 1 )	3 %	19.7	30	20.6	30	22.5	30	75.0	
成果指標 ( 2 )	4	88	300	212	300	255	300	85.0	
事業費	5 千円	14,529	17,346	15,970	17,233	15,670	17,364	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	1,390	1,815	1,464	1,752	915	915	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	15,919	19,161	17,434	18,985	16,585	18,279		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	7,953	8,152	7,944	8,828	7,368	8,482	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	7,953	8,152	7,944	8,828	7,368	8,482	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	7,966	11,009	9,490	10,157	9,217	9,797	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 186

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	管理運営委託			15,670
	その他 ( )			
取組成果	<p>視覚障害者会館は、NPO法人杉並区視覚障害者福祉協会に運営を委託し、視覚障害者の自立援助のための点字講習会、生活支援講座等の開催及び三療施術を実施しています。</p> <p>令和4年度においては、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、感染症対策を講じながら事業運営をした結果、前年度より講習会の参加者が43人増加するとともに、三療施術の利用者も149人増加しました。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>運営委託事業者であるNPO法人杉並区視覚障害者福祉協会の前身は、杉並区視覚障害者福祉協会、創立以来80年の伝統ある任意団体です。当会館の前身の盲人会館を含めて運営に深く関わってきました。平成18年度から平成26年度まで、指定管理者として視覚障害者会館の管理運営等を行ってきましたが、平成27年度からは運営形態を業務委託に変更し運営しています。区としては、建物・設備等の維持管理を担っています。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>三療施術者が固定化しており、また、施術室もスペースが限られていることから、新規施術者を多く受け入れることが難しい状況にあります。また、デジタル技術は、日々進歩していることから、デジタルデバインド対策として、時代に合わせた講習会の実施が求められています。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>三療施術の利用実績は、令和5年度に入ってから施術者が1名少なくなったこともあり、7月までの累計では、前年度の474人に対し、390人と減少しています。各種講習会の参加者数は、7月までの累計では、前年度の63人に対し、69人とほぼ横ばいになっています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>視覚障害者会館は、視覚障害者の自立更生を図り、交流の場を提供する数少ない支援施設です。NPO法人杉並区視覚障害者福祉協会が、障害特性への理解や配慮など専門的な知識や経験を生かした運営を着実に進めています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が5類感染症となったものの、三療施術の利用実績が伸び悩んでおり、また、施術者や施設利用者の高齢化・固定化などの課題があることから、今後は委託法人と連携しながら、事業のあり方を検討していく必要があります。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>はり・灸・マッサージの資格をもった視覚障害者に、施術の場を提供するとともに、視覚障害者を対象とした講座・教室を実施することで、今後も視覚障害者の社会参加支援を推進します。</p> <p>ICT講習会については、デジタル技術の進展を踏まえ、デジタルデバインド対策として実施します。また、その他の講習会についても、視覚障害者が日常生活を行っていく上で必要な知識やスキルが身に付けられるような講習会となるよう、利用者のニーズに合わせて見直しを図っていきます。</p>	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00200 )

事務事業名称	障害者交流館運営			款	04	項	01	目	03	事業	029	整理番号	187
現担当課名	障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	188		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成 7年度												
令和 4年度担当課名	障害者生活支援課							事業評価区分	一般				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の利用者及び受託者	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	障害者、障害者団体及び障害者福祉ボランティア等に施設を貸出し、地域における自主的な活動を通じて、自立と社会参加を促す。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	利用回数 ( 和田及び高円寺障害者交流館 ) 利用人員 ( 和田及び高円寺障害者交流館 )
事業内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の維持管理、運営等を杉並区障害者団体連合会に委託する。	成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	利用率 ( 和田及び高円寺障害者交流館 ) 利用時間数 ÷ 年間利用可能時間数【行政】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 回	1,543	4,000	2,169	4,000	2,566	4,000	64.2	85.1	
活動指標 ( 2 )	2 人	16,159	56,000	21,122	56,000	26,530	56,000	47.4		
成果指標 ( 1 )	3 %	22.3	60	27.6	60	33.5	60	55.8		
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	34,079	46,050	37,867	45,790	38,970	46,146	特記事項		
人件費	常勤職員分 ( 再任用含 )	6 千円	1,390	1,815	1,464	1,752	1,830	1,830	障害者交流館の運営や清掃に係る委託費に、執行残が生じたため、予算執行率85.1%となりました。	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 ( 5+6+7 )	8 千円	35,469	47,865	39,331	47,542	40,800	47,976			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 9+10+11 )	12 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 ( 8-12 )	13 千円	35,469	47,865	39,331	47,542	40,800	47,976			



# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 187

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	管理運営委託 (和 田)			18,044
	管理運営委託 (高円寺)			20,926
	その他 ( )			
取組成果	<p>和田及び高円寺障害者交流館は、障害者を主体とした団体に施設の貸し出しを行っています。令和4年度においては、前年度に引き続き新型コロナウイルスの影響があったものの、感染症対策を講じながら事業運営をした結果、前年度より利用者数が5,408人増加し、利用率33.5%となりました。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>和田障害者交流館は、平成7年度の開設から杉並区障害者雇用支援事業団に、高円寺障害者交流館は平成14年3月の開設から杉並区障害者団体連合会に運営を委託していました。平成18年度からは杉並区障害者団体連合会を指定管理者として、和田障害者交流館と合わせて管理運営等を行ってまいりましたが、平成24年度から運営形態を業務委託に変更し運営しています。区としては、建物・設備等の維持管理を担っています。</p> <p>高円寺障害者交流館は、障害者団体等以外に目的外使用として一般区民にも開放しています。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>新型コロナウイルス感染症は、5類感染症となり、これまでよりも障害者の社会との交流が活発になることが見込まれる一方で、様々な障害特性をもつ方がいることを踏まえ、マスクの着用における個人の主体的な判断を尊重しつつ、引き続き感染症対策を行っていく必要があります。</p> <p>障害のある方やボランティア活動をしている方々の活動の場及び交流や余暇活動を促進する場としての役割を引き続き推進していきます。</p> <p>和田障害者交流館は、併設する和田小学校とともに、老朽化が進んでおり、利用率も低い状況が続いていることから、今後のあり方について検討していく必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和5年度においては、新型コロナウイルス感染症が5類感染症となったこともあり、7月までの利用者数の累計は、前年度の9,318人に対し、10,890人と増加傾向にあります。障害者交流館の管理運営に係る費用は、施設の受付や清掃に係る人件費が主であり、利用者数の影響を受けにくいことから、予算の執行状況は大きく変化しないと見込んでいます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館は、多くの障害者に交流の場を提供しています。</p> <p>高円寺障害者交流館は、地域に支えられた交流館まつりをはじめ、障害者団体の活動の場など、地域に密着した障害者施設として引き続き運営していきます。</p> <p>また、和田障害者交流館については、利用率が低い状況が続いていることから、老朽化が進む併設の和田小学校や和田区民集会所の施設再編・整備の状況を踏まえながら、施設のあり方等を検討していきます。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	縮小
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>障害者交流館は、今後も障害者や支援者の活動及び地域との交流の場としての役割を担い、円滑な運営に努めます。</p> <p>また、令和4年度においては、予算執行率が90%未満となったことから、委託先と協議しながら、予算の適正化を図ります。</p>	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00201 )

事務事業名称	すぎのき生活園事業運営	款	04	項	01	目	03	事業	030	整理番号	188
現担当課名	障害者生活支援課	係名	すぎのき生活園				連絡先電話番号	3399-8953		昨年度整理番号	189
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援						予算事業区分	既定事業			
事業開始	昭和55年度										
令和 4年度担当課名	障害者生活支援課						事業評価区分	一般			

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	すぎのき生活園利用者 (利用者 = 重度知的障害者)	根拠法令等 (1) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 (2) 杉並区立すぎのき生活園運営要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	障害程度の重い知的障害者に対し、日常生活の援助や各種活動の提供・支援を行い、日々の生活の充実と社会生活能力の向上を図る。	活動指標 指標名 (1) 個々の利用者の年間個別支援計画の作成割合 指標説明 個別支援計画作成者数 ÷ 登録者数 指標名 (2) 日常生活支援活動における延べ利用者数 指標説明
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	日常生活動作 (更衣・排泄・食事・移動等) への支援や介助を行う。 回収、リサイクル、軽作業、ウォーキング、畑作業、陶芸等の活動を行う。 機能訓練、自立能力向上への支援を行う。 送迎バス・給食を提供する。 健康管理、各種検診の実施、栄養指導を行う。 各種行事の実施と地域との交流を進める。	成果指標 指標名 (1) 個々の利用者の年間個別支援計画に対して成果のあった利用者の割合=個人面談時の評価 指標説明 成果のあった利用者 ÷ 利用者数【行政】 指標名 (2) 出席率 指標説明 延べ通所人数 ÷ (登録者数 × 開所日)【行政】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 人	81	84	83	84	84	84	100.0	96.9
活動指標 (2)	2 人	14,329	18,295	15,365	18,152	16,704	18,370	92.0	
成果指標 (1)	3 %	100.0	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
成果指標 (2)	4 %	72.8	90	76.5	90	83.0	90	92.2	
事業費	5 千円	112,332	118,058	115,723	121,107	117,329	124,675	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	433,058	426,463	439,916	422,657	435,354	407,582	
	上記以外の職員	7 千円	7,256	7,256	8,453	8,453	14,712	18,390	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	552,646	551,777	564,092	552,217	567,395	550,647		
財源	受益者負担分	9 千円	176,974	211,362	201,094	211,012	201,945	211,014	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	176,974	211,362	201,094	211,012	201,945	211,014	
	差引: 一般財源 (8-12)	13 千円	375,672	340,415	362,998	341,205	365,450	339,633	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 188

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	送迎用バス運行業務委託	245	日	76,919
	給食調理業務委託	243	日	35,277
	日常生活活動	84	人	2,449
	利用者健康管理	84	人	2,221
	その他 ( 郵券、保険 ほか )			463
取組成果	<p>区立知的障害者通所施設のすぎのき生活園では各利用者の個別支援計画に基づいた生活支援、健康の維持、機能低下を防ぐ取り組み、その他各利用者の特性や興味に合わせた活動の提供をしています。送迎バスや給食提供、各種の検診や健康管理、栄養指導、その他ご家族も含めた生活全般の相談支援を行ってきました。令和4年度は84名の利用者を受け入れましたが、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により出席率は83%となりました。また、所外行事である社会見学は開催を見送り、地域イベントである杉実祭は規模を縮小して実施しました。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>すぎのき生活園は強い行動障害がある重度知的障害者対象の施設です。近年は利用者の高齢化や障害の重度化で個別対応が必要な状況が増える中、安全で適切な支援を実施するための適正な集団規模を模索しています。一方規模を生かした多様な活動やプログラムが提供され、地域に根ざした施設づくり等の評価を得ています。また、今後整備が進む民間施設と連携しながら重度知的障害者の日中活動の場を確保するとともに高い支援力を持った人材育成が急務となっています。この間民間事業者による新たな重度知的障害者通所施設が整備されたことに加え、令和7年度に久我山に一定規模の施設が開設予定で、引き続き支援技術の提供など民間事業者の支援体制の構築が課題となっています。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>今年度、民間施設入所予定者を急遽受け入れることになり、定員を1名超過しての運営を行っています。障害の重度化で個別対応が必要な状況が増え、送迎車両 (ワゴン車) を増車するなど安全で適切な支援を実施するための必要な措置を講じています。また、「区立障害者通所施設のあり方検討会」を発足し、今後整備が進む民間施設と連携しながら重度知的障害者の日中活動の場を確保するため、人材育成をはじめ民間施設支援の取組について検討しています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>特別支援学校卒業予定者のうち生活介護施設利用希望者が増えており、強度行動障害など対応が難しい卒業生も増えています。また、利用者の37%が身体障害との重複障害であり、高齢化により機能低下している利用者や民間施設で対応が難しい利用者も増えています。障害の重度化・重複化が進む中、区内障害者施設の中核的な施設として民間施設のバックアップ等に取り組んでいきます。これに合わせて、集団規模の適正化と障害の程度に応じた設備を整えていきます。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>今後も強度行動障害のある特別支援学校からの卒業生が予定されており、来年度は更に多くの利用者を受け入れる必要があることから、送迎車両の増車等事業費の拡充が必要となります。</p> <p>また、強い行動障害のある利用者の受入れについては、民間生活介護施設でも受入れが進むように連絡会等を通じて定期的に意見交換や情報共有の場を設けるとともに、重度知的障害者への支援のノウハウを伝えながら、民間施設の支援力の向上に取り組んでいきます。</p> <p>久我山の新施設にすぎのき生活園から一定数の利用者が移行することが見込まれることから、丁寧な引継ぎも行っていきます。</p>	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00202 )

事務事業名称	こすもす生活園事業運営			款	04	項	01	目	03	事業	031	整理番号	189
現担当課名	障害者生活支援課		係名	こすもす生活園			連絡先電話番号	3317-9312		昨年度整理番号	190		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成 5年度												
令和 4年度担当課名	障害者生活支援課							事業評価区分	一般				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	こすもす生活園の利用者 (利用者 = 重度身体障害者)	根拠法令等 ( 1 ) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 ( 2 ) 杉並区身体障害者通所施設条例、同施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が自分の持っている能力を十分発揮し、地域社会において生き生きとした生活ができるよう支援する。家族を含めた利用者の24時間の生活を見据え健康管理、環境整備等、関係機関とのコーディネートを行う。	活動指標 指標名 ( 1 ) 登録者数 指標説明 生活介護登録者数 + 自立訓練登録者数 指標名 ( 2 ) 延べ通所人数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	利用者が自分の持っている能力を発揮し、地域社会で生き生きとした生活ができるよう、個々のニーズに基づき自立と社会参加を支援する。個別支援計画を作成し、介護・支援、給食・送迎、機能訓練、入浴、社会適応支援、スポーツ・レクリエーション、創作的・生産的活動、健康管理、医療的ケア、相談支援、地域交流・広報活動などを行う。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 個々の利用者の年間個別支援計画の作成割合 指標説明 個別支援計画作成者数 ÷ 登録者数【行政】 指標名 ( 2 ) 出席率 指標説明 延べ通所人数 ÷ (日々定員 × 開所日数)【行政】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 人	26	26	26	24	24	26	100.0	98.8
活動指標 ( 2 )	2 人	3,735	5,808	4,086	5,832	4,016	5,832	68.9	
成果指標 ( 1 )	3 %	100.0	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
成果指標 ( 2 )	4 %	64.0	85	70.4	85	68.9	85	81.1	
事業費	5 千円	56,987	71,093	70,236	70,940	70,101	79,404	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	157,452	156,431	151,714	164,229	165,019	188,675	
	上記以外の職員	7 千円	7,546	7,256	10,400	11,025	11,034	11,034	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	221,985	234,780	232,350	246,194	246,154	279,113		
財源	受益者負担分	9 千円	55,022	70,411	61,546	65,225	60,409	65,113	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	55,022	70,411	61,546	65,225	60,409	65,113	
差引：一般財源 (8-12)	13 千円	166,963	164,369	170,804	180,969	185,745	214,000		



# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 189

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	送迎用バス運行業務委託	243	日	52,008
	給食調理業務委託	243	日	14,764
	利用者健康管理	24	人	1,119
	医療的ケア	6	人	1,312
	その他 ( 日常生活活動・行事特別活動ほか )			898
取組成果	<p>区立身体障害者通所施設のごすもす生活園では通所バスによる送迎を行い、給食は障害の特性に応じた食形態を提供し、摂食嚥下機能の維持向上に取り組んでいます。また、嘱託医師による健康相談及び眼科・耳鼻科の検診を実施するとともに、医療的ケア対象者には、指導医の助言を受けながら適切なケアを実施しています。創作的活動、レクリエーション、広報活動等の事業を行い、利用者の自立と社会参加に努めています。令和4年度は24名の利用者を受け入れ、コロナ禍を踏まえて外出行事やコンサートなどの行事について、規模を縮小しながら実施しました。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>令和4年度は、新規で入所された方が1名、途中で退所された方が1名いました。利用者は重度身体障害者であり、新型コロナウイルス感染予防で利用自粛をされる方や、季節の変わり目で体調を崩しやすい方がいたことから、出席率は目標値に達せず前年度と比較して減少しました。</p> <p>個別支援計画については、特定相談支援事業所が作成するサービス等利用計画との連動を意識したものを作成することで、他の福祉サービス利用支援などの地域生活支援においての成果が見られています。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>通所施設を希望する方や医療的ケアが必要な方も増えてきています。それに伴ってより広い活動スペースや、プログラム・支援内容の見直し、人材育成等が課題となっています。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 ( 年度末までの見込含む )	<p>4月に特別支援学校の卒業生が新たに入所しましたが、2名が医療的ケアが必要な方で、そのうち1名は区立施設では初めての受入れとなる人工呼吸器装着の方となっています。年々医療的ケアのニーズが高まっており、看護師によるバス添乗など新たなサービスが求められています。また利用者の障害の重度化等に伴い、より広い活動スペースが必要になってきており、10月から分室を整備し活動を開始します。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策については5類移行に合わせて内容を見直し、感染対策を行いながらハンドベルコンサートなどの行事を実施しました。</p> <p>7月までの出席率は、77.9%で前年度 ( 68.9% ) に比べて大幅に伸びています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>特別支援学校の卒業生や中途障害者の方の生活介護利用希望は増加していますが、利用希望に対して区内の身体障害者施設の空きが少なくなってきました。他の施設や特定相談支援事業所と連携し、各種サービスも組み合わせながら、通所施設等の社会参加の場を拡充させていく必要があります。</p> <p>また、医療的ケアや高齢化などに伴って障害の重度化・重複化が進む中、新たなニーズも出てきています。</p> <p>こうした中、区立施設が区内障害者施設の中核的施設として、民間施設のバックアップ等に取り組んでいきます。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>利用者の高齢化や障害の重度化・重複化が進み、医療的ケアや個別の配慮などのニーズが高まっています。そのため、研修等の充実を図り福祉・医療専門職としての職員のスキルアップや、プログラム活動の充実を図っていきます。特に、医療的ケアが必要な方に対しての看護師添乗による送迎サービスについては、訪問看護師の導入を検討し、内容の見直しを行います。</p> <p>また、利用者の24時間の地域生活を支援していく視点から、区内通所施設の連絡会や民間施設職員も含めた研修等により関係機関との連携を強化していきます。これにより、区全体で重度身体障害者が安心安全に生活を送れるような仕組みを作っていくよう努めていきます。</p>	



# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00203 )

事務事業名称	なのはな生活園事業運営	款	04	項	01	目	03	事業	032	整理番号	190
現担当課名	障害者生活支援課	係名	なのはな生活園				連絡先電話番号	3335-0415		昨年度整理番号	191
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援						予算事業区分	既定事業			
事業開始	平成 9年度										
令和 4年度担当課名	障害者生活支援課						事業評価区分	一般			

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	なのはな生活園の利用者 (利用者 = 重度身体障害者)	根拠法令等 ( 1 ) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 ( 2 ) 杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	さまざまな活動や経験を通して、園の利用者である重度の身体障害者が、地域社会の中でその人らしく生き生きとした生活を送ることができるようにする。 園の利用者の健康を維持するため、健康管理と維持の支援や健康状態のチェック、医療的ケアを実施する。	活動指標 指標名 ( 1 ) 施設登録人数 (生活介護登録人数 + 自立訓練登録人数) 指標説明 施設の利用登録者の数 指標名 ( 2 ) 延べ通所者人数 指標説明 年間延べ通所者数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	利用者が持っている能力を十分発揮したり、新しい自分を発見できるよう活動等を提供し支援する。また、地域社会において生き生きとした生活が送れるよう、個々のニーズに基づき自立と社会参加の促進を図る。 個別支援計画の策定と実施、機能訓練・医療的ケア・入浴サービス・バス送迎・給食提供などを行う。また、支援の充実のために本人、家族、関係機関との情報共有を行う。	成果指標 指標名 ( 1 ) 個々の利用者の年間個別支援計画の作成割合 指標説明 個別支援計画作成者数 ÷ 登録者数【行政】 指標名 ( 2 ) 出席率 指標説明 延べ通所人数 ÷ (定員数 × 開所日数)【行政】

## 指標、総事業費 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 人	31	32	32	30	30	32	100.0	98.6	
活動指標 ( 2 )	2 人	4,860	5,842	4,945	5,866	5,026	5,866	85.7		
成果指標 ( 1 )	3 %	100	100	100	100	100	100	100.0		
成果指標 ( 2 )	4 %	71.4	85	72.9	85	73.8	85	86.8		
事業費	5 千円	68,760	71,592	70,507	72,083	71,091	77,144	特記事項		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	172,611	189,617	190,804	184,762	187,745	210,687		
	上記以外の職員	7 千円	12,335	7,256	7,350	7,350	7,356	7,356		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	253,706	268,465	268,661	264,195	266,192	295,187			
財源	受益者負担分	9 千円	70,672	90,113	73,900	90,113	74,073	90,113		
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	70,672	90,113	73,900	90,113	74,073	90,113		
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	183,034	178,352	194,761	174,082	192,119	205,074		

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 190

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	送迎用バス運行業務委託	243	日	52,008
	給食調理業務委託	243	日	15,152
	利用者健康管理	30	人	923
	医療的ケア	6	人	1,469
	その他 ( 日常生活活動・行事特別活動ほか )			1,539
取組成果	<p>区立身体障害者通所施設のなのはな生活園では、送迎における負担を考慮し、送迎バスを効率的に運行を行い、給食は利用者の状況を踏まえ4種類の食形態を設け、利用者個々の口腔機能に合わせて提供しています。看護師を中心に健康管理を行いながらケアを行いました。障害特性や加齢に伴う健康面での個別のニーズに柔軟に対応するとともに、医療的ケアが必要な利用者には、園の指導医から助言を受けながら看護師、福祉職が安全にケアを行いました。令和4年は30名の利用者を受入れ、個々の障害・身体特性に応じた健康的、創作的な活動を集団活動を通して提供しました。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>なのはな生活園では、平成15年度より医療的ケアを必要とする特別支援学校卒業生の受入れに対応するため、医療的ケア実施要領を定め医療的ケアを必要とする卒業生を含め、受入れを行っています。また、特別支援学校の在校生に人工呼吸器を装着した方がいることから、安全に受入れができるよう研修や課題検討を行い準備を進めました。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>現利用者の加齢や疾病などから身体機能が低下し、新たな医療的な支援を必要とする方が増加していくことが予想されます。また、特別支援学校から医療的ケアを必要とする在籍者が増えていくことが見込まれます。障害の多様化・高度化する医療的な支援に対応できるよう、看護師の確保と育成するとともに、医療機関との連携を強化していく必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 ( 年度末までの見込含む )	<p>今年度特別支援学校から医療的ケアを必要とする2名の卒業生を受入れました。これまで医療的ケアを必要とする方の受入れ人数を7名としていましたが、今年度の受入れで計8名の方が通所されています。常勤看護師の配置を増やしたことにより、安全に医療的ケアを提供しています。</p> <p>また、昨年度より、利用者のニーズ等を踏まえサービス内容の見直しを行い、利用者の障害特性や身体特性に合わせたグループ活動の提供を行っています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>特別支援学校の在籍者数や、在籍者のうち医療的ケアを必要とする方の状況を踏まえると、今後受入れ施設が不足することが見込まれます。現在利用されている利用者の加齢による身体機能の低下から、介助量の増加や、新たに医療的ケアが必要となることも予測されます。</p> <p>医療的ケア者の支援は技術面、配慮面で個別性が高く、また生命に直結する高度な支援が求められています。こうした中、計画的に通所施設の整備を行うとともに、区立施設が区内障害者施設の中核的な施設として、民間施設のバックアップ等に取り組んでいきます。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>重度身体障害者の日常生活を支える施設として常に利用対象者の身体の変化には、十分な観察と変化への気づき、ケア内容やサービス提供の見直しが必要とされています。質の高いサービスを維持していくためには、変化に対応できる適切な人員配置が重要であり、人材育成を継続的に行い専門性を高めていくことは必須です。また、医療的ケアが必要な方の送迎サービスについて、訪問看護師の送迎バスへの添乗の検討を進めるほか、利用者の身体状況や新規通所者の情報を事前に把握し、予算要求を行っていきます。</p>	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00204 )

事務事業名称	障害者の入所・通所施設の運営助成			款	04	項	01	目	03	事業	033	整理番号	191
現担当課名	障害者生活支援課		係名	管理係		連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	192			
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成21年度												
令和 4年度担当課名	障害者生活支援課							事業評価区分	一般				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	<p>民営化した障害者通所施設等を運営する法人</p>	<p>根拠法令等</p> <p>( 1 ) 杉並区重度障害者通所施設整備・運営に関する補助要綱</p> <p>( 2 ) 障害者支援施設マイルドハート高円寺「なでしこ」運営費補助要綱</p>
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	<p>民営化した重度身体障害者通所施設や新たに民間が開設した重度知的障害者通所施設が、区立生活園とともに重度障害者の受け入れに应运じていく。運営経費の一部を補助することにより、施設が安定して運営できるよう図る。</p>	<p>活動指標</p> <p>指標名 ( 1 ) 利用者登録人数 (年度当初)</p> <p>指標説明</p> <p>指標名 ( 2 ) 年間延べ利用者数</p>
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	<p>重度身体障害者施設において、特に経費を要する医療的ケアにかかる経費、及び送迎バス運行の経費を補助する。</p> <p>重度知的障害者施設において、施設運営にかかる施設借上げ経費や非常勤職員人件費等の運営経費の一部を補助する。</p> <p>障害者通所施設において、施設利用者の通所のための送迎サービスに要する経費の一部を補助する。</p>	<p>指標説明</p> <p>成果指標</p> <p>指標名 ( 1 ) 定員に対する年度末の登録者数の割合</p> <p>指標説明</p> <p>指標名 ( 2 ) 1日当たり平均利用者数</p> <p>指標説明</p> <p>年間延べ利用者数 ÷ 年間開園 (所) 日数 (6施設 (民間重度障害者通所施設) の計) 【行政】</p>

## 指標、総事業費 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度			
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)			
活動指標 ( 1 )	1 人	155	159	159	165	164	168	99.4	81.1			
活動指標 ( 2 )	2 人	32,774	33,000	33,510	33,000	35,010	33,000	106.1				
成果指標 ( 1 )	3 %	84.4	86	88.7	89	87.3	91	98.1				
成果指標 ( 2 )	4 人	135	143	138	123	143	126	116.3				
事業費	5 千円	201,745	204,491	194,534	325,252	263,671	282,694	特記事項				
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	3,006	3,346	3,166	2,670	6,405	6,405	令和 4年度において、障害者施設への物価高騰緊急対策支援事業を実施したことにより、事業費が35%の増となりました。また、当該事業について、事業者からの申請が、当初想定よりも少なかったため、執行残が生じました。			
	上記以外の職員	7 千円	363	363	368	368	736	736				
総事業費 (5+6+7)	8 千円	205,114	208,200	198,068	328,290	270,812	289,835					
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0				
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	67,564	0				
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0				
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	67,564	0				
差引：一般財源 (8-12)	13 千円	205,114	208,200	198,068	328,290	203,248	289,835					

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 191

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	重度身体障害者支援施設等運営助成	3	所	138,329
	重度知的障害者通所施設運営助成	3	所	67,390
	障害者通所施設の送迎サービス助成	1	所	10,850
	障害福祉サービス事業所等物価高騰緊急対策	294	所	47,102
	その他 ( )			
取組成果	<p>重度身体障害者施設及び重度知的障害者施設について、職員人件費及び送迎に係る経費等、施設運営費の一部を補助していますが、令和4年度はこれに加え、原油価格及び物価高騰等の影響による障害者施設における経済的負担を軽減するため、食事提供に係る食材料費、光熱費及び燃料費の一部について、294事業所に対して支援を行いました。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>重度障害者の施設通所の需要に応えるとともに、重度障害者を受け入れる民間施設を支援するため、運営費の一部助成を行っています。 令和元年度からは、人工呼吸器使用者の受入れ施設に対し、看護師等の人件費の一部を補助しています。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>障害者施設では、利用者の高齢化に伴う、重度障害者の割合や医療的ケアを必要とする利用者の増加が見込まれます。 特別支援学校の卒業生や中途障害者等の日中活動の場の確保として、新規施設の整備を行うことにより、運営費補助金の増加が想定されます。 物価高騰に対する障害者施設への支援については、物価高騰の推移や国・都からの障害者施設への支援、障害福祉サービス等報酬の動向などを注視していくことが必要です。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>重度障害者通所施設への補助については、施設の利用者の増加が見込まれることから、運営費や送迎に係る費用が増える見込みです。 物価高騰に対する障害者施設への支援について、上半期分を当初予算で計上していましたが、その後都においても支援策を打ち出したことから、現在区の支援方法について調整しています。また、下半期分の支援については、物価高騰の推移や国・都からの障害者施設への支援状況を把握しながら、必要な支援を行います。</p>
事業の方向性・改善策	<p>引き続き障害者施設への運営費の補助を行い、安定した施設運営とサービスの質を維持できるよう取り組んでいきます。また、今後予定されている報酬改定を踏まえながら、必要に応じて、補助内容の見直しを行うとともに、重度障害者の民間施設での受け入れがより進むよう、補助の仕組みについて検討します。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	縮小
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>障害者施設の利用状況を踏まえて、より適正なサービスの提供と質の確保のため、引き続き運営費の一部補助を行います。 物価高騰に対する障害者施設への支援については、令和5年度当初予算において予算措置を行いました。来年度においては、物価高騰の推移が現時点で見通せないことから、皆減とし、予算規模は減となる見込みです。</p>	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00205 )

事務事業名称	障害者の就労支援事業				款 04	項 01	目 03	事業 034	整理番号	192
現担当課名	障害者生活支援課		係名	管理係	連絡先電話番号	2274		昨年度整理番号	193	
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援						予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成16年度	実行計画事業	目標 05	施策 16	計画事業	02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
令和 4年度担当課名	障害者生活支援課						事業評価区分	一般		

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	就労を希望する障害者	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 杉並区障害者職場実習実施要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	障害者施設等で働く障害者に対し、様々な取組や支援を行ない一般就労を進めていく。 障害者施設で働く障害者の自立の促進のために、工賃の向上を目指す。	活動指標 指標名（ 1 ） 指標説明 指標名（ 2 ）	職場実習受入れ企業数 すぎなみ仕事ねっと定例会への参加延べ人数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	就労を希望する障害者に対し、障害者雇用支援事業団と連携して実習の場を提供する。 障害者施設の工賃アップを目的とし、企業等からの仕事受注、自主製品の共同開発、広報活動等に取り組み区内就労継続支援B型事業所等から構成される「すぎなみ仕事ねっと」へ補助を行う。	成果指標 指標名（ 1 ） 指標説明 指標名（ 2 ） 指標説明	職場実習をした障害者数 【行政】 区内障害者施設の平均工賃 区内の就労継続支援B型事業所の総工賃額÷工賃を支払った人数【行政】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 人	8	11	9	11	11	12	100.0	46.6
活動指標 ( 2 )	2 人	172	330	233	330	295	330	89.4	
成果指標 ( 1 )	3 人	15	55	28	55	23	55	41.8	
成果指標 ( 2 )	4 円	15,483	16,154	14,971	14,971	15,435	15,563	103.1	
事業費	5 千円	878	1,597	1,182	1,434	668	1,662	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	14,030	15,305	17,854	25,368	30,684	30,734	障害者雇用義務のある企業での実習が多かったことによる実習奨励金の執行残や、コロナ禍により、障害者施設外部販売の自粛などにより、予算執行率が46.6%となりました。
	上記以外の職員	7 千円	7,256	7,256	7,350	3,675	6,768	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	22,164	24,158	26,386	30,477	38,120	32,396		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	22,164	24,158	26,386	30,477	38,120	32,396	



# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 192

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	障害者職場実習の実施	23	人	205
	障害者施設の工賃アップ支援			463
	その他 ( )			
取組成果	<p>障害者職場実習については、区内11所の企業において受入れ協力があり、一般就労へのイメージづくりとなる体験型・短時間型13人、実践的な経験及びスキルアップを図る実践型9人、課題の克服や周囲との調整法を明確にするチャレンジ型1人の計23人の障害者が実習を行いました。</p> <p>障害者施設の工賃アップ支援の取組では、区内就労継続支援B型事業所等から構成される「すぎなみ仕事ねっと」との協働により、障害者施設の商品販売会を開催したほか、庁内の優先調達を推進するため、案内ちらしやカタログの作成・周知を行い、平均工賃は令和3年度より464円上回りました。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>障害者職場実習は、平成16年度から区役所での実習受入れを開始し、現在までに実習先は区内企業11所に広がっています。本事業は、重度の障害者や就労経験のない方、仕事のイメージが持てない方などが就労を目指す最初のステップとして参加できるような実習先の確保等が期待されています。</p> <p>障害者施設の工賃アップ支援では、各事業所の運営努力により、区が定める優先調達等方針に掲げる目標を達成しましたが、コロナ禍以前の水準に戻っていません。また東京都全体の平均工賃と比較して低い状況にあることから、すぎなみ仕事ねっととの連携を強化して取り組んでいく必要があります。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>障害者職場実習については、区内11所の企業において受入れ協力があり、8月末時点で計6人の実習を行っています。</p> <p>「すぎなみ仕事ねっと」の加盟施設は、前年度から1所増えて30所となりました。今年度は、障害者施設の自主製品の周知や販路拡大に向け、加盟施設で統一したデザインによる自主製品等の紹介パネルの作成やSNS等での発信を強化しています。また、庁内の優先調達推進のため、供給可能な物品等の情報に関するチラシを新たに作成し、庁内への周知に努めています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>障害者職場実習について、障害者一人ひとりの能力や特性に合わせた多様な働き方に対応するため、受入れ先の拡充とともに、杉並区雇用支援ネットワーク会議等を通じて、より多くの就労体験の機会の確保に取り組みます。</p> <p>障害者施設の工賃アップについては、「すぎなみ仕事ねっと」加盟施設の連携による共同受注体制の整備や自主製品の開発を強化し、販路拡大に向けての取組を継続して行う必要があります。また、庁内の優先調達推進については、今年度から上半期終了時点での調達状況を調査することで、目標達成に向けた進捗管理を行い、積極的な調達に繋げていきます。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善) ・対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>障害者雇用促進法の改正に伴い、法定雇用率の段階的な引き上げや、重度障害者等の短時間就労者における雇用率の算定化が予定されていることなどを踏まえ、障害者の就労支援を更に押し上げるために、実習受入れ先の拡充に取り組みます。</p> <p>工賃アップ支援については、「すぎなみ仕事ねっと」の取組に対する補助を引き続き行い、加盟施設からの課題抽出、企画立案等を積極的に進め、販路拡大や共同受注、庁内からの優先調達につながるよう効果的な運営に努めていきます。</p> <p>なお、予算は、実習受入れ先の拡充による増加の要因はあるものの、令和4年度の執行状況を踏まえ、現状維持とします。</p>	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00207 )

事務事業名称	障害者グループホームの支援			款	04	項	01	目	03	事業	036	整理番号	193	
現担当課名	障害者施策課	係名	認定・給付係	連絡先電話番号	1159			昨年度整理番号	194					
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援							予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成 8年度													
令和 4年度担当課名	障害者施策課							事業評価区分	一般					

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	グループホームを運営する社会福祉法人、グループホームを利用している障害者等	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	杉並区障害者グループホーム等支援事業実施要綱 杉並区知的障害者区長指定グループホーム事業実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	障害者が地域社会で自立した生活を送る場であるグループホームが安定的・継続的に運営されるように支援する。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	グループホーム利用者数 杉並区内グループホームの利用者数 区内運営費支給施設 (ユニット) 数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	精神障害者グループホームを運営する社会福祉法人等に対し、運営経費の一部を支給する。グループホームを利用する障害者への家賃助成を行う。グループホーム相互のネットワークを構築するための支援を実施する。	成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	通過型グループホームから退所し、地域で生活を始めた人数 【行政】

## 指標、総事業費 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度 対計画比 (%)	令和 4年度 予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画		
活動指標 ( 1 )	1 人	245	245	276	280	308	330	110.0	96.2
活動指標 ( 2 )	2 所	11	14	9	14	14	15	100.0	
成果指標 ( 1 )	3 人	12	15	12	15	7	15	46.7	
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	146,082	150,500	142,901	159,727	153,713	161,339	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	8,503	6,802	4,172	4,172	4,159	4,159	
	上記以外の職員	7 千円	1,451	7,619	7,718	7,718	7,356	7,356	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	156,036	164,921	154,791	171,617	165,228	172,854		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	13,280	11,380	11,580	12,030	12,630	11,720	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	13,280	11,380	11,580	12,030	12,630	11,720	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	142,756	153,541	143,211	159,587	152,598	161,134	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 193

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	精神障害者グループホーム運営助成 (ユニット数)	70	所	55,565
	グループホーム入居者への家賃助成	231	人	59,344
	障害者グループホーム地域ネットワーク事業委託			3,739
	医療連携型・重度障害者対応型グループホーム体制強化支援事業助成	3	所	30,940
	その他 ( 地域移行支援事業補助金ほか )			4,125
取組成果	<p>精神障害者が入居している都内グループホームに施設借上費を支給し、身体及び知的障害者を対象に家賃助成を行うことで家賃の負担軽減を図り、グループホームへの入居が可能になるなど、地域生活の推進に寄与しています。医療連携型グループホーム・重度障害者対応型グループホームへの運営助成により、重度の障害者が身近な地域で安心して生活できる環境が確保されています。</p> <p>また、障害者グループホーム地域ネットワーク事業では、管理者向けの情報交換会を実施し、各グループホームの課題共有や事例検討等を行うことで、施設運営の質の向上に貢献しています。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>昨今の社会経済状況による不況等の社会不安により、精神障害者が増加傾向にあります。精神障害者を医療機関で長期入院させるのではなく、退院促進により地域移行していく受け入れ先としてグループホームが活用され、また、地域で一人暮らしを希望しているが、必要な相談支援や家事支援を受けながら地域での単身生活に向けた支援を提供する通過型グループホームの利用希望が増えており、今後もグループホームの開設が進み、利用者も増えていくことが見込まれています。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>障害者グループホーム地域ネットワーク事業は、新型コロナウイルスの感染予防や陽性者対応等により、情報交換会や研修への参加者が減少していることが課題となっています。オンラインの導入による参加率の向上を目指しましたが、参加者側がオンラインに対応しておらず参加率が横ばいとなりました。また、グループホームの抱える課題は複雑化しており、研修をより専門的かつ細分化するなど、各グループホームの状況に沿った内容で実施していく必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>精神障害者が入居している都内グループホームに施設借上費を支給し、身体及び知的障害者を対象に家賃助成を行うことで家賃の負担軽減を図っていますが、グループホームの開設により対象者が増えています。</p> <p>障害者グループホーム地域ネットワーク事業は、区内グループホーム運営法人に対してアンケート調査で課題や要望を聞き取り、情報交換会の議題や研修内容に反映させる取組を行っています。事業所のニーズに沿った内容にすることで、研修の参加率や支援の質の向上を図っています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の改正があり、障害者等の地域生活の支援体制の充実等により、障害者等が希望する生活を営むことができる社会を実現するための措置を講じる必要があります。</p> <p>また、令和6年度障害福祉サービス等報酬改定において、障害者が希望する地域生活を実現する地域づくりとして、相談支援の質の向上や提供体制の整備、グループホームにおける一人暮らし等の希望の実現、支援の実態に応じた適切な評価となるよう検討が行われており、改定内容を注視しながら障害者が地域社会で自立した生活ができるよう、グループホームへの入居を支援します。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>グループホームの開設数は年々増加しており、家賃助成の対象者も増えています。障害者がグループホームを利用し、継続して地域生活を行う上で家賃助成や施設借上費は大変重要であり、利用状況を踏まえた予算編成が必要となります。</p>	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00680 )

事務事業名称	障害者の権利擁護の推進				款	04	項	01	目	03	事業	037	整理番号	194	
現担当課名	障害者施策課		係名	管理係		連絡先電話番号	1143		昨年度整理番号	195					
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成27年度	実行計画事業	目標	05	施策	16	計画事業	05	主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
令和 4年度担当課名	障害者施策課								事業評価区分	一般					

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	区民、区職員、民間事業者	根拠法令等	( 1 ) 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律 ( 2 ) 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	障害者差別の禁止や合理的配慮の提供など障害者の権利擁護に関する理念の普及に努める。障害者に対する虐待の未然防止のため、地域における支援のネットワークを構築するとともに、必要な福祉サービスの利用援助など養護者等の負担軽減を図る。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	区民・職員・関係機関向け講演会・研修会の実施回数  共生社会しかけ隊を実施した施設数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	区民及び民間事業者等に対し、障害者差別の禁止や合理的配慮など障害者の権利擁護に関する普及啓発を行う。 区職員が適切な区民対応をできるよう、職員対応要領の周知や研修などを行う。 障害者虐待防止法に基づき、通報等を受理し、事実確認をするとともに個々の状況に応じて対応し、支援機関につなぐなど継続的な支援を行う。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	講演会・研修会参加者数 障害者虐待防止研修 (グループホーム世話人対象) 参加者数【行政】 街で障害者が困っているときに声をかけたことのある区民の割合 区民意向調査による【区民】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 回	0	3	1	3	2	5	66.7	96.7
活動指標 ( 2 )	2 所	0	0	0	6	6	13	100.0	
成果指標 ( 1 )	3 人	0	300	30	300	283	300	94.3	
成果指標 ( 2 )	4 %	0	0	79	44	75	46	170.5	
事業費	5 千円	610	1,612	661	2,424	2,344	2,412	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	29,761	31,102	21,354	23,022	24,620	25,452	成果指標の「街で障害者が困っているときに声をかけたことのある区民の割合」は、令和4年度初めての区民意向調査項目であり、実績値が目標値を大幅に上回りました。そこで、令和5年度の結果を踏まえ修正を検討します。
	上記以外の職員	7 千円	1,088	363	368	368	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	31,459	33,077	22,383	25,814	26,964	27,864		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	1,139	1,070	1,068	928	928	939	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	1,139	1,070	1,068	928	928	939	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	30,320	32,007	21,315	24,886	26,036	26,925	



# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 194

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	障害者差別解消支援地域会議開催	2	回	152
	共生社会しかけ隊実施			1,543
	講演会・研修会	3	回	196
	その他 ( 障害者差別解消に向けた啓発用品等 )			453
取組成果	<p>障害者差別解消支援地域会議のもと、障害当事者・支援者等とともに「共生社会しかけ隊」を結成し、初年度の令和4年度はスポーツ施設に向き、施設職員との対話をもとに合理的配慮の提供のためのヒント集を作成・配布しました。その他、区の職員が障害者への合理的配慮を率先して実践していくため、新任職員及び係長職昇任者を対象とした研修を行いました。</p> <p>虐待防止の取り組みとしては、施設やグループホームの管理者や虐待防止責任者向けに、令和4年度より設置が義務付けられた虐待防止委員会の機能についての研修を実施しました。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>障害者差別解消法により、障害のある方への合理的配慮の提供が求められており、令和3年5月に合理的配慮を義務付ける法改正が成立しました。令和3年度に実施した区民意向調査では、合理的配慮の認知度は4割程度にとどまっており、引き続き普及啓発に力を入れる必要があります。</p> <p>令和4年度から合理的配慮を広げる具体的な取り組みとして「共生社会しかけ隊」を結成し、障害のある人や支援者等が、地域で関わる様々な場所に向き、出向いた場所の職員と話し合い、それぞれが感じている困りごとを共に工夫して解決する取組を行うことしました。令和4年度はまずはスポーツ施設で実施し、その取組を「解決ヒント集 (スポーツ施設編)」にまとめ、今後の合理的配慮の提供を地域に広めていくために活用していくこととしました。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>虐待防止の取り組みとしてネットワークの構築を目標として掲げていますが、年に1回の集合研修だけでは目標達成は困難です。誰もが虐待の危険性があることを認識し、早めにその芽を摘めるような、気づきを促す取り組みを進める必要があります。コロナ禍では実現しなかった小規模かつ対面での研修や意見交換の場を増やし、ネットワークの構築を積極的に進めていきます。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和5年度は「共生社会しかけ隊」の取組を、地域区民センター7か所を対象に実施しています。働きかけは、センターを運営している事業者とあわせて、センターを拠点に活動している協議会を含めて実施します。協議会は、地域住民の相互交流・活動の拡大を図り、地域のよりよいまちづくりを進めるための団体であり、地域の町会・自治会、小・中学校PTA、商店会、福祉団体、青少年育成委員会、ボランティア団体等から推薦を受けた委員で構成されています。地域の様々な分野の方々が意見交換を行うことで、しかけ隊の取組がより効果的に地域に広がることを期待できます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>令和6年4月から、国や自治体だけでなく、民間事業者にも障害者への合理的配慮の提供が義務化されることを踏まえ、区では、障害の有無によって分け隔てることなく、障害者が地域の一員として力を発揮できる共生社会の実現に向け、区内事業者等への普及啓発に取り組んでいく必要があります。</p> <p>また、行政サービスにおいて合理的配慮の不提供がないよう、引き続き啓発や研修を実施していきます。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善) ・対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>合理的配慮の提供を効果的に広めていくためには、区内の様々な場所での提供状況を把握した上で働きかけていくことが必要です。引き続き、令和4年度に実施した区内障害者に求められる場の調査結果をもとに、その場が誰にとっても過ごしやすいものとなるよう、合理的配慮の提供を進める働きかけを行っていきます。</p> <p>取組としては、令和6年4月から、国や自治体だけでなく、民間事業者にも障害者への合理的配慮の提供が義務化されることを踏まえ、共生社会しかけ隊の取組を民間事業者に広げるとともに、効果的な手法を検討しながら実施します。</p>	



# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00682 )

事務事業名称	障害者スポーツ等支援				款	04	項	01	目	03	事業	041	整理番号	195	
現担当課名	障害者施策課		係名	管理係		連絡先電話番号	1143		昨年度整理番号	196					
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成27年度	実行計画事業	目標	05	施策	16	計画事業	03							
令和 4年度担当課名	障害者施策課								事業評価区分	一般					

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	区内の障害者及びその関係者	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	障害者基本法第1条、第6条及び第25条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	障害者スポーツ・レクリエーション活動を支援することにより、障害者の社会参加の機会を拡大する。スポーツ・レクリエーションをとおして、障害への理解を深め、誰もが相互に人格と個性を尊重し合つ共生社会の実現を目指す。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	障害者スポーツ・レクリエーション事業開催回数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	障害者が参加しやすいスポーツ・レクリエーション事業を開催する。障害者通所施設に出向き、施設内で実施できるスポーツの紹介や活動をとおして、障害者がスポーツに親しめる機会を増やす。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	障害者スポーツ・レクリエーション参加者数 【行政】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度対計画比 (%)	令和 4年度予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画		
活動指標 ( 1 )	1 回	1	5	3	4	18	20	450.0	97.9
活動指標 ( 2 )	2								
成果指標 ( 1 )	3 人	31	150	241	250	625	630	250.0	
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	1,773	3,749	2,672	1,489	1,458	1,420	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	5,952	6,802	5,673	5,840	5,823	5,823	
	上記以外の職員	7 千円	363	363	368	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	8,088	10,914	8,713	7,329	7,281	7,243		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	350	1,000	1,200	600	325	600	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	350	1,000	1,200	600	325	600	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	7,738	9,914	7,513	6,729	6,956	6,643	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 195

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	障害者スポーツ・レクリエーション事業の実施	18	回	1,200
	その他 ( 啓発用事務費等 )			258
取組成果	より多くの障害者がスポーツ活動等を始めるきっかけとなるよう、障害者週間のイベントである「ふれあいフェスタ」でのスポーツ・レクリエーション体験事業や、障害者通所施設での出張教室を実施し、昨年度の規模を大きく超え障害者のスポーツによる社会参加に寄与しました。			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>障害当事者と支援者等が共に参加するスポーツ・レクリエーションの機会を増やすことは、障害者の社会参加だけでなく、地域の障害理解促進につながります。</p> <p>東京2020大会を契機にスポーツへの関心が高まり、障害者からは、普段通り慣れた場所などでスポーツ・レクリエーションをする機会を設けてほしいなどの声があり、令和3年度から障害者通所施設を対象に、スポーツデリバリー教室事業を開始し、令和4年度は実施回数を増やすことで、さらなる機会の拡充を行いました。今後も、利用者の障害特性に応じた種目を盛り込むなど、スポーツを通じた障害者の社会参加を促進していきます。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和5年度の取組として、ふれあい運動会でのボンダンス、ふれあいフェスタでの体育室でのイベント、スポーツデリバリー教室、スポ・レク体験会を実施します。</p> <p>スポーツデリバリー教室について、11施設で実施します。</p> <p>令和6年度に向けて、令和5年度の実績を踏まえ、スポーツの機会を拡充し、障害者の社会参加を促進していきます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>障害当事者と支援者等が共に参加するスポーツ・レクリエーションの機会を増やすことは、障害者の社会参加だけでなく、地域の障害理解促進にもつながります。</p> <p>障害者の通いやすい場所での出張教室の実施回数を拡充するとともに、利用者の障害特性に応じた種目やeスポーツなど多様な内容を盛り込み、新規で実施する施設を増やし、スポーツを通じた障害者の社会参加を促進していきます。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>普段通っている施設など、身近な活動場所でスポーツ・レクリエーションを体験できる機会を広げていきます。また、パラスポーツだけでなく、eスポーツの実施など事業内容を工夫し、スポーツ・レクリエーションを通じ、地域の様々な場所で障害のある方もない方も一緒に楽しめるよう、取り組んでいきます。</p>	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00781 )

事務事業名称	発達障害者支援の充実			款	04	項	01	目	03	事業	043	整理番号	197
現担当課名	障害者施策課		係名	管理係		連絡先電話番号	1148		昨年度整理番号	198			
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成26年度												
令和 4年度担当課名	障害者施策課							事業評価区分	一般				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	杉並区に居住する、知的障害を伴わない18歳から50歳未満の発達障害の診断を受けている者及び疑いのあるもの。	根拠法令等	( 1 ) 発達障害者支援法 ( 2 ) 杉並区発達障害者支援事業成人期プログラム実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	発達障害者の家族が、障害の特性やより良いかわり方を学ぶ機会を得ることで、当事者が安定した生活につながることをめざす。相談担当者が相談者の生活上の課題を適切に聞き取り、状況にあった支援につなげることをめざす。	活動指標	関係者連絡会の開催回数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	専門相談や家族教室の講師は専門の講師に依頼し、謝礼を支払う。 ○関係者連絡会では、区内の就労系の相談窓口担当者が参加し、講師による研修を実施する。	指標名 ( 1 )	家族教室の参加延べ人数
		指標説明	
		成果指標	家族教室の参加者数
		指標名 ( 1 )	【行政】
		指標名 ( 2 )	家族教室参加後の満足度
		指標説明	参加者へのアンケート調査による満足度【区民】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 回	0	0	0	3	2	3	66.7	96.4
活動指標 ( 2 )	2 人	0	25	54	50	99	75	198.0	
成果指標 ( 1 )	3 人	0	37	5	99	10	80	10.1	
成果指標 ( 2 )	4 %	0	75	85	80	92	85	115.0	
事業費	5 千円	3,437	2,705	1,757	983	948	993	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	8,503	8,503	8,343	8,343	4,159	2,495	
	上記以外の職員	7 千円	363	363	368	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	12,303	11,571	10,468	9,326	5,107	3,488		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	2,518	1,352	862	489	491	430	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	2,518	1,352	862	489	491	430	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	9,785	10,219	9,606	8,837	4,616	3,058	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 197

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	家族教室の実施	10	回	346
	専門相談の実施	48	回	441
	関係者連絡会、啓発リーフレットの作成	2	回	159
	その他 ( 通信運搬費等 )			2
取組成果	<p>義務教育終了後の発達障害者の家族を対象に、医師や臨床心理士による家族教室を実施しました。また、障害者総合支援法のサービスや児童福祉法の通所支援サービスを利用する発達障害者を対象に、障害特性を理解したうえで支援者が相談対応できるよう、専門相談を実施しました。</p> <p>区内各所で発達障害者の支援を行う担当者による実務担当者会を開催し、相談内容をアセスメントし必要な相談先につなぐ「発達障害者相談窓口マップ」を作成し、医療機関等に配布しました。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>成人期発達障害の方は、進学や就職等で社会に出て人間関係が複雑になり、様々なコミュニケーションを求められて初めてその障害に気づくことがあります。本人や家族が悩んだ際に、適切な相談先に繋がるのが大切です。しかし、医療や福祉サービス、就労支援等の相談窓口はわかりにくいいため、わかりやすく案内する必要があります。また、それらの相談窓口が連携し、専門的の窓口につながるような、日頃から顔の見える関係づくりを強化する必要があります。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>実務担当者会を開催し、各機関の取組を把握するとともに顔の見える関係づくりに取組むことができました。</p> <p>6月の家族教室では、関係機関(くらサボ・すぎjob・すぎトレ)が通所支援の取組を案内し、参加者から「相談先があることで不安が軽減した」等の感想が得られています。家族教室での取組がきっかけとなり、くらサボが専門相談を活用し発達障害者の対応力向上を図るなど関係機関の連携が促進されています。また、家族教室参加者で障害福祉サービスにつながない区民を対象に専門相談を実施しています。知的障害を伴わない発達障害者が利用できる福祉サービス利用を含めた相談事業が少ないため、貴重な相談の場になっています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>家族教室については、対象者の年齢層を義務教育終了後としていましたが、切れ目ない支援の必要性があることから、特に社会資源の少ない知的障害を伴わない学齢期の発達障害児を対象に広げ、実施していきます。</p> <p>事業が開始し2年目の専門相談については、課内職員だけでなく保健センターやくらサボなど発達障害者の相談支援を担う関係機関の職員の利用も増えており、専門的な助言の必要性が求められています。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)・対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>成人期発達障害者支援については、対象を義務教育終了後として取り組んでいましたが、早期相談が必要であることから、まずは家族教室の対象の見直しから事業を展開していきます。対象年齢を下げることで、関係する相談機関の幅も広がることから教育分野、放課後デイサービス事業所等とも連携し、発達障害者の支援が重層的に行えるよう取り組みます。</p> <p>専門相談については、関係機関からの相談も増えており家族教室の年齢の幅を広げることで利用者増が見込まれることから、開催数を増やして開催する必要があると考えています。(現在22回/年 36回/年)</p>	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00804 )

事務事業名称	業務継続のための福祉施設等従事者へのPCR検査			款	04	項	01	目	03	事業	058	整理番号	198
現担当課名	障害者施策課		係名	管理係		連絡先電話番号	1144		昨年度整理番号	199			
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援							予算事業区分	臨時事業				
事業開始	令和 2年度												
令和 4年度担当課名	障害者施策課							事業評価区分	その他簡易な評価				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	利用者又は従事者に新型コロナウイルスの陽性者が発生した福祉施設等	根拠法令等 (1) (2)	杉並区福祉施設等従事者への新型コロナウイルス感染症検査実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	福祉施設等において利用者及び従事者に新型コロナウイルスの感染者が発生した場合、行政検査の対象とならない従事者を対象とした区独自のPCR検査を実施し、従事者の不安解消を行うことにより、施設の業務継続を図り、区民サービスを維持することを目的とする。	活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	○福祉施設等において利用者及び従事者に新型コロナウイルス感染症が発生した場合に、従事者の不安を解消し、業務の継続と区民サービスを維持できるよう、行政検査の対象とならない従事者を対象としたPCR検査を区独自で実施する。	指標説明 成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度 対計画比(%)	令和 4年度 予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画		
活動指標(1)	1								34.5
活動指標(2)	2								
成果指標(1)	3								
成果指標(2)	4								
事業費	5 千円	2,056	14,157	14,157	7,361	2,542	0	特記事項	
人件費	常勤職員分(再任用含)	6 千円	850	850	834	834	0	0	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	2,906	15,007	14,991	8,195	2,542	0		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	1,341	12,096	9,338	7,361	2,542	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	1,341	12,096	9,338	7,361	2,542	0	
	差引:一般財源 (8-12)	13 千円	1,565	2,911	5,653	834	0	0	



# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 198

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	業務継続のための福祉施設等従事者への P C R 検査実施		363	人
	その他 ( )			
取組成果	利用者及び従事者に新型コロナウイルス感染症が発生した場合に、従事者の不安を解消し、業務の継続と区民サービスを維持できるよう、行政検査の対象とならない従事者を対象に、区独自の P C R 検査を福祉施設等363人に対して実施しました。			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	令和5年度から区直営による P C R 検査へと移行したため、予算事業としては廃止となりました。
事業の方向性・改善策	生活衛生課と連携を図り、区直営による P C R 検査へと移行したため、令和5年度から予算事業としては廃止となりました。今後も福祉施設等から P C R 検査の要望があれば、区直営検査にて対応します。

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	その他・対象外
	II 事業の改善の方向性	実施主体の見直し
予算の方向性の理由・内容	令和5年度から区直営による P C R 検査へと移行したため、予算事業としては廃止となりました。	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00841 )

事務事業名称	障害者生活支援サービス			款	04	項	01	目	03	事業	059	整理番号	199
現担当課名	障害者施策課		係名	障害者手当・医療係			連絡先電話番号	1145		昨年度整理番号	200		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	令和 3年度												
令和 4年度担当課名	障害者施策課							事業評価区分	一般				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	在宅の重度心身障害者（児）で各事業ごとに支援を必要とする方	根拠法令等	( 1 )	杉並区心身障害者おむつ支給要綱
			( 2 )	杉並区重度心身障害者等緊急通報システム（民間方式）事業運営要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	○障害者が住み慣れた地域で引き続き暮らせるよう、衛生の保持や健康の増進、生活の安全の確保等のほか、経済的な負担の軽減を図る。	活動指標	指標名（ 1 ）	受給者数（おむつ）
			指標説明	
			指標名（ 2 ）	緊急通報システム新規設置台数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	○おむつ支給：月8,000円を限度に現物支給する。 ○緊急通報システム：緊急事態に陥った際、自動的に民間警備会社に通報する。 ○理美容サービス：理美容券を発行し訪問理美容サービスを提供する。 ○電話料助成：固定電話の回線・配線・機器使用料及び月60通話分の通話料を助成する。 ○寝具洗濯乾燥：月1回、ふとん乾燥車で自宅を訪問し、寝具の乾燥を行う。年に2回、寝具の水洗いも行う。	指標説明	成果指標	おむつの一人当たり年間総支給額【行政】
			指標名（ 1 ）	
			指標説明	
			指標名（ 2 ）	緊急通報システム設置台数累計【行政】
			指標説明	

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度対計画比(%)	令和 4年度予算執行率(%)
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画		
活動指標（ 1 ）	1 人		950	908	940	920	921	97.9	98.6
活動指標（ 2 ）	2 台		5	4	5	8	5	160.0	
成果指標（ 1 ）	3 千円		70	72	70	72	75	102.9	
成果指標（ 2 ）	4 台		43	35	41	39	41	95.1	
事業費	5 千円		72,457	69,710	70,670	69,703	73,241	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	4,252	18,016	19,584	9,228	8,979		
	上記以外の職員	7 千円	0	1,838	1,470	1,471	1,471		
総事業費(5+6+7)	8 千円		76,709	89,564	91,724	80,402	83,691		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円	272	1,085	162	902	902		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計(9+10+11)	12 千円	272	1,085	162	902	902		
	差引：一般財源(8-12)	13 千円	76,437	88,479	91,562	79,500	82,789		

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 199

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	おむつ支給	920	人	66,163
	緊急通報システム	39	人	1,214
	理美容サービス	182	人	1,149
	その他 ( 電話料助成、寝具洗濯乾燥、知的障害者 ( 児 ) 位置探索システム等 )	52	人	1,160
	その他 ( 事務費ほか )			17
取組成果	<p>おむつ支給は920人に支給し対象者が増加傾向にあります。緊急通報システムは令和5年3月末で対象者39人に設置し、重度心身障害者の生活の安全に寄与しました。その他の事業のうち、電話料の助成対象者は20人 ( 個人電話13人、福祉電話7人 )、寝具洗濯乾燥サービスは10人、位置探索システムは22人にサービスを提供しました。一方で、三輪自転車購入費助成は数件の問い合わせはあったものの、申請に至ったものはありませんでした。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>理美容サービス及び寝具洗濯乾燥サービス、おむつは平成31年1月に年齢要件を撤廃したため、障害者が年齢に関係なく継続してサービスが受給できる仕組みが整いました。また、介護用品のおむつとの切替が生活状況に応じて可能となり、利用者の利便性が増しています。理美容サービスと寝具洗濯乾燥サービスについては、最重度の障害者を対象としているため、申請件数は減少傾向にあります。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>おむつについては、原材料費や燃料費の高騰により、おむつの価格についても影響が出ていますが、委託事業者と年間契約をしていることから、令和4年度に関しては年度途中で価格を改訂せずすみしました。しかし令和5年度以降は大幅な価格上昇が予想されます。</p> <p>電話料の助成は、利用者は多くはありませんが、FAX ( 固定電話 ) を利用する聴覚障害者や携帯電話の操作が難しい視覚障害者等に一定の需要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 ( 年度末までの見込含む )	<p>おむつ支給、緊急通報システム、理美容サービスは、7月末現在の認定者が前年同月に比べて増加しています。</p> <p>その他の事業は、7月末現在の受給者数は前年同月と同人数、または微減となっています。三輪自転車は数件の問い合わせがあったものの申請には至りませんでした。</p>
事業の方向性・改善策	<p>おむつの受給者数は令和5年度も引き続き増加しています。原材料費や燃料費高騰の影響から配送品の一部見直しを行いました。受給者増、価格上昇は今後も続く予想されますが、利用者の利便性やサービスの向上のため、取扱品目を増やす等の検討を続けます。</p> <p>理美容サービス、寝具乾燥サービスについては利用者の緩やかな増加が見込まれます。電話料助成は今後も一定の需要があると予想され、引き続き制度の周知や適正な運用に努めます。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>おむつは引き続き利用者の増加や商品の値上げが予測されるため、必要な予算を確保していきます。</p> <p>寝具洗濯乾燥サービス、理美容サービス、緊急通報システム、位置探索システム、電話料助成は、利用者の微増が予測され、三輪自転車は今後も利用者の減少が予測されます。サービスが必要な方へ制度の周知に努める一方で、適切な予算規模を見極める必要があります。</p>	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00842 )

事務事業名称	障害者手当等支給			款	04	項	01	目	03	事業	062	整理番号	200
現担当課名	障害者施策課		係名	障害者手当・医療係			連絡先電話番号	1145		昨年度整理番号	201		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	令和 3年度												
令和 4年度担当課名	障害者施策課							事業評価区分	一般				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	受給要件に該当する心身障害者（年齢制限、所得制限あり）	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	杉並区心身障害者福祉手当条例 杉並区心身障害者福祉タクシー事業実施要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	○心身に障害を有する者等に手当を給付することにより、福祉の増進と経済的負担の軽減を図る。 ○外出困難な心身障害者の自立した生活と社会参加、及び経済的負担の軽減を図る。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	受給者数（心身障害者福祉手当（精神含む）・介護手当）  福祉タクシー券利用者数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	○心身障害者福祉手当：一定の障害等級、障害状況により、月額17,000円、11,500円、5,000円を支給する。 ○タクシー利用券：一定の障害を有する者に月5,300円の福祉タクシー券を支給する。	成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	心身障害者福祉手当（精神含む）・介護手当の年間総支給額 【行政】 発行した福祉タクシー券の利用率 支払済み乗車料金÷発行した福祉タクシー券の額面総額 【社会】

## 指標、総事業費 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度 対計画比(%)	令和 4年度 予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画		
活動指標 ( 1 )	1 人		5,250	5,194	5,288	5,161	5,250	97.6	96.8
活動指標 ( 2 )	2 人		6,500	6,203	6,500	5,232	5,800	80.5	
成果指標 ( 1 )	3 千円		915,000	912,775	921,115	904,020	915,476	98.1	
成果指標 ( 2 )	4 %		70	67	70	69	80	98.6	
事業費	5 千円		1,976,366	1,954,931	2,014,104	1,949,212	2,001,101	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	78,228	69,860	67,297	81,377	97,148		
	上記以外の職員	7 千円	0	4,778	8,453	8,827	2,207		
総事業費 (5+6+7)	8 千円		2,054,594	2,029,569	2,089,854	2,039,416	2,100,456		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円	125,603	128,291	128,095	131,260	133,841		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	125,603	128,291	128,095	131,260	133,841		
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	1,928,991	1,901,278	1,961,759	1,908,156	1,966,615		

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 200

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	国制度手当 (特別障害者手当、障害児福祉手当、経過的福祉手当)	545	人	155,430
	心身障害者福祉手当 (精神障害者福祉手当含む)・介護手当	5,161	人	904,020
	難病患者福祉手当	2,830	人	550,110
	タクシー利用券、リフト付タクシー補助券、自動車燃料費助成	7,325	人	296,031
	その他 (特別児童扶養手当事務費ほか)			43,621
取組成果	<p>国制度手当は、特別障害者手当を385人、障害児福祉手当を151人、経過的福祉手当9人に支給しました。区制度の心身障害者福祉手当のうち、精神手当は127人に支給しました。タクシー利用券は5232人、リフト付きタクシー補助券は810人、自動車燃料費助成は1283人に支給しました。また、燃料費高騰を受け、自動車燃料費助成は、新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金を活用し、期間を限定のうえ、既助成額に1ℓ当たり20円を上乗せして支給しました。その他、原爆被爆者への見舞金は214人へ、重度脳性麻痺者の介護人への手当は11人に支給しました。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>タクシー利用券や自動車燃料費の助成等の移動に関する事業は、令和3年4月から所得制限を導入し、令和4年度末をもって激変緩和措置を終了しました。なお、令和4年度から精神保健福祉手帳 1級所持者を対象に加えました。</p> <p>国制度の手当は、特に特別障害者手当については認知度が上がったことから相談、申請件数が増加しています。支給要件に該当する方が確実に申請できるよう、窓口等での丁寧な説明に努めていきます。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>区制度の手当は、手当の支給対象外施設への入所や所得の更正等により対象外となった結果、返還請求を行う事例があります。過払いを未然に防ぐよう関連部門と連携を密にしていきます。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和5年3月末から7月末にかけて、特別障害者手当、障害児福祉手当、心身障害者福祉手当、タクシー利用券、リフト付きタクシー補助券、自動車燃料費助成の受給者数は増加しています。経過的福祉手当、介護手当は、現状維持が続いています。難病患者福祉手当は受給者数は減少しました。各条令、要綱等に定められた回数、方法で定例の支払を行っています。令和5年6月から、タクシー、リフト、燃料費助成についてもマイナンバーを使用して所得照会を行うことができるようになりました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>国の手当については、身体障害者手帳が不要である特別障害者手当の認知度が上がり、相談、申請件数が増加しました。必要な方に必要な手当を支給できるよう、丁寧な説明に努めていきます。</p> <p>区の手当については、日付を遡っての転出や手当の支給対象外施設への入所、所得の更正等による返還請求を行う事例が増加しています。システムを活用するとともに関係機関との情報連携を密にし、返還金が発生した場合には対象者へ丁寧な説明を行うことで確実に過払い金の解消に努めていきます。</p> <p>なお、マイナンバーを使用して所得照会を行うことができる事業が増えたことで、申請者の利便性が向上しました。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>手当の申請者の増加が続く見込みであり、また国手当の支給単価の上昇、難病医療費助成制度の制度改正、物価高騰の影響などから、今後も受給者数、支給総額ともに増加が続く見込みです。</p>	



# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00849 )

事務事業名称	共生型サービスの推進			款 04	項 01	目 03	事業 063	整理番号	201
現担当課名	障害者施策課	係名	管理係	連絡先電話番号			1143	昨年度整理番号	
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援						予算事業区分	新規事業	
事業開始	令和 4年度	実行計画事業	目標 05	施策 16	計画事業	04	主要事業（区政経営報告書掲載事業）		
令和 4年度担当課名	障害者施策課						事業評価区分	一般	

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	令和5.6年度に区内で共生型サービス事業所を開設し、生活介護又は短期入所を提供する介護保険サービス事業者	根拠法令等 (1) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 (2) 介護保険法
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	障害者が個々の身体状況や適性に合わせて、介護保険事業者が提供するサービスを選択して利用できるよう、介護保険サービス事業所が、共生型サービス事業所を開設することを促進する。	活動指標 指標名(1) 区内の共生型サービス事業所数 指標説明 区内の共生型サービス事業所数 指標名(2) 周知・啓発セミナー等開催数 指標説明
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	高齢・障害分野の更なる連携により、共生型サービス事業者開設及び利用促進に向けた周知啓発を行う。 共生型サービスの開設に係る経費及び障害者の受入れにかかる経費の一部を助成する。	成果指標 指標名(1) 共生型サービス事業所利用者数 指標説明 共生型サービス事業所利用者数【行政】 指標名(2) 共生型サービス事業所利用者数【行政】 指標説明

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)
活動指標(1)	1 回				2	2	7	100.0	62.5
活動指標(2)	2 回				3	3	3	100.0	
成果指標(1)	3 人				4	4	18	100.0	
成果指標(2)	4								
事業費	5 千円				1,279	800	6,151	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円			2,481	4,986	6,650	令和4年度からの新規事業です。ちらし等を庁内印刷で作成したことによる需用費が残りになりました。	
	上記以外の職員	7 千円			0	0	0		
総事業費 (5+6+7)	8 千円				3,760	5,786	12,801		
財源	受益者負担分	9 千円			0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円			0	0	0		
	その他の補助金等	11 千円			0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円			0	0	0		
差引：一般財源 (8-12)	13 千円				3,760	5,786	12,801		

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 201

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	周知・啓発セミナー等開催	3	回	489
	その他 ( ちらし作成、郵券購入等 )			311
取組成果	<p>高齢となった障害者が個々の適性や状況に合わせて介護保険事業所が提供するサービスが受けられるよう、共生型サービス事業所を開設するための経費の一部を助成する事業の創設を進めました。</p> <p>また、共生型サービス事業所の開設や利用促進を図るため、事業者向けシンポジウムを1回、高齢福祉分野・障害福祉分野の従事者等向けの交流会を2回開催しました。開設の検討をしている事業者には、指定手続き等への支援を行いました。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>令和4年度のシンポジウムには、高齢・障害分野の事業者が60名以上参加し、事業の周知、今後の連携した取組に向け、一定の成果がありました。共生型サービスの開設にあたっては介護保険事業者の障害理解、利用をする障害者に対しては関わっている障害分野の支援者が丁寧につなぐことが重要であり、ますます高齢・障害分野の支援者が連携していく必要があります。</p> <p>また、現在開設しているのは生活介護の共生型サービス事業者であり、今後はショートステイサービスを提供する事業者にも働きかけを丁寧に行っていきます。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>介護保険サービス事業所が障害福祉サービスを提供する共生型サービス事業所の開設を促進するため、令和5・6年度に開設した共生型サービス事業所に対し、開設経費及び障害者受入れ支援に係る運営費の一部を助成する「共生型サービス開設促進事業」を立ち上げました。令和5年9月現在、この事業の対象となる共生型サービス事業所は、生活介護(介護保険でのデイサービスに類似するサービス)を提供する2事業者で、現在新たに1社の相談を受けています。また、利用者も現在調整中で、10月には3人の利用を予定しています。今後、年度末に向けて、共生型サービス事業所の開設や利用促進を図るため、介護保険事業者及び障害福祉サービス事業者等との地域別の懇談会及び利用者にもむけたシンポジウム等の開催を予定しています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>生活介護の共生型サービス事業所については、介護保険のデイサービスと同様の送迎範囲となるため、開設数が少ないことで利用できないエリアがあり、障害者が希望しても利用できない状況があります。地域の偏在なく、より多くの介護保険事業者が共生型サービスを開設するよう、事業者にも働きかけていきます。</p> <p>ショートステイの共生型サービス事業所については、東京都の事業所指定申請期間が限られており、令和5年度は開設事業者はありません。次年度の指定に向け働きかけていきます。</p> <p>今後の開設状況、国の動向等を踏まえて、その後の事業のあり方について令和6年度に検討を行います。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>令和6年度に共生型サービスを開設した事業所への開設助成に合わせて、令和5・6年度に開設した事業所が新規利用者を受け入れることで障害者受入助成経費が増えるため、令和6年度の予算額は令和5年度より高くなる見込みです。助成対象となる事業所、受入れ障害者いずれも期間限定のため、令和7年度以降は予算額は減額となる見込みです。</p> <p>また、開設促進に向けたシンポジウム等の周知経費についても、令和6年度は前年と同様、事業者向けの地域交流会を2回、利用者・家族・支援者向けのシンポジウムを1回実施する予定です。</p>	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00217 )

事務事業名称	障害者福祉会館の維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	001	整理番号	207
現担当課名	障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	207		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和57年度												
令和 4年度担当課名	障害者生活支援課							事業評価区分	施設維持管理				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	障害者福祉会館及びその利用者	根拠法令等	( 1 ) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 ( 2 ) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	利用者が安全で快適な環境の中で、各種教室等への参加や活動を行うことができるよう施設の維持管理をする。	活動指標	
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	利用者にとって快適な施設を維持するために、施設の清掃、設備の保守点検等を実施する。	成果指標	
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1								87.1
活動指標 ( 2 )	2								
成果指標 ( 1 )	3								
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	30,177	26,758	24,912	34,168	29,760	35,550	特記事項	
人件費	常勤職員分 ( 再任用含 )	6 千円	2,381	2,551	2,670	2,670	1,830	1,830	執行率について：機械設備点検委託及び定期清掃請負において入札の結果、予算の執行残が生じました。事業費増加理由：工事や点検に必要な備品価格や輸送費が高騰したため。福祉会館の経年劣化により修繕箇所が令和3年度に比べて増加したため。
	上記以外の職員	7 千円	363	363	368	368	736	368	
総事業費 ( 5+6+7 )	8 千円	32,921	29,672	27,950	37,206	32,326	37,748		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	2,381	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 ( 9+10+11 )	12 千円	2,381	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 ( 8-12 )	13 千円	30,540	29,672	27,950	37,206	32,326	37,748	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 207

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	施設保守管理委託		1	所
	光熱水費の支出	1	所	7,115
	維持管理等 (自動水栓化含む)	1	所	1,930
	その他 (通信運搬費 )			490
取組成果	<p>障害者福祉会館は併設されている1階の障害者雇用支援事業団、3階の杉並区障害者地域相談支援センター (すまいる高井戸) と連携して、建物の保守管理や定期清掃等の維持管理を担っています。令和4年度は雨水配管や外壁爆裂部や1階玄関スロープ防滑塗装修理などの修繕を実施しました。今後も施設の老朽化で修繕箇所が多くなると予想されることから、来館者の安全に留意して計画的な修繕や設備の交換等を実施していきます。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>8月までに防災設備の交換や機械設備の清掃などの修繕対応を行いました。施設保守委託の予算執行率は8月までで24%、光熱水費の支出は23%、維持管理費の建物修繕費は37%となっています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>障害者の福祉の増進や交流の場として、障害者福祉会館の役割は大きく、現在築40年以上を経過し施設の老朽化が進んでいることから、今後、施設の改築等について検討していきます。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>設備の修繕箇所や経年劣化による機械の不具合が年々多くなっているため、必要な建物修繕費について予算化していきます。また、光熱水費については電気やガスの価格の推移を踏まえて、経費を積算します。</p>	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00683 )

事務事業名称	視覚障害者会館の維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	002	整理番号	208
現担当課名	障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	208		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	令和27年度												
令和 4年度担当課名	障害者生活支援課							事業評価区分	施設維持管理				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	視覚障害者会館及びその利用者	根拠法令等	( 1 ) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 ( 2 ) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	利用者が安全で快適な環境の中で活動できるよう施設を維持管理する。	活動指標	
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	利用者にとって快適な施設を維持するために、施設の清掃、設備の保守点検等を実施する。	成果指標	
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度対計画比 (%)	令和 4年度予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画		
活動指標 ( 1 )	1								88.7
活動指標 ( 2 )	2								
成果指標 ( 1 )	3								
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	1,868	1,947	1,765	2,038	1,807	2,273	特記事項	
人件費	常勤職員分 ( 再任用含 )	6 千円	850	850	918	918	1,830	1,830	清掃業務委託や機械設備保守点検業務委託において、入札により、当初想定よりも委託費が低くなり、執行残が生じました。
	上記以外の職員	7 千円	363	363	368	368	368	368	
総事業費 ( 5+6+7 )	8 千円	3,081	3,160	3,051	3,324	4,005	4,471		
財源	受益者負担分	9 千円							
	国・都からの補助金	10 千円	397	903	406	897	317	1,067	
	その他の補助金等	11 千円							
	特定財源計 ( 9+10+11 )	12 千円	397	903	406	897	317	1,067	
	差引：一般財源 ( 8-12 )	13 千円	2,684	2,257	2,645	2,427	3,688	3,404	



# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 208

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	施設保守管理委託			837
	光熱水費の支出			795
	維持管理等			175
	その他 ( )			
取組成果	視覚障害者会館の維持管理は、業務を委託しているNPO法人杉並区視覚障害者福祉協会と連携し、施設の安全と快適性の確保に努めています。			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	清掃業務や機械設備等の人件費増に伴い、令和5年度においては、施設保守管理委託の増加を見込んでいます。
事業の方向性・改善策	利用者の安全で快適な環境を確保するため、NPO法人杉並区視覚障害者福祉協会と連携をして、視覚障害者の立場に立った施設の保守管理に努めています。 ここ数年、三療施術の利用率が低く、利用者も限られています。また、立地状況にも課題があることから、今後施設のあり方等について検討します。

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	視覚障害者のための施設として、利用者に影響が生じる設備の改修など必要最小限の修繕を行います。	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00218 )

事務事業名称	障害者交流館維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	003	整理番号	209
現担当課名	障害者生活支援課		係名	管理係		連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	209			
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成 7年度												
令和 4年度担当課名	障害者生活支援課							事業評価区分	施設維持管理				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の利用者	根拠法令等	( 1 ) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 ( 2 ) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適な環境の中で活動できるよう施設を維持管理する。	活動指標	
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	利用者にとって快適な施設を維持するために、機械設備の保守点検等を実施する。	成果指標	
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1								98.9
活動指標 ( 2 )	2								
成果指標 ( 1 )	3								
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	5,706	6,949	6,318	8,561	8,464	9,037	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	850	850	918	918	1,830	1,830	エネルギー価格の高騰により、光熱費が増加したことや、老朽化した事務用品の入替を行ったため、前年度よりも33%事業費が増大しました。
	上記以外の職員	7 千円	363	363	368	368	368	368	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	6,919	8,162	7,604	9,847	10,662	11,235		
財源	受益者負担分	9 千円	172	550	231	550	471	550	
	国・都からの補助金	10 千円	375	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	547	550	231	550	471	550	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	6,372	7,612	7,373	9,297	10,191	10,685	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 209

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	施設保守管理委託	2	所	4,405
	光熱水費の支出	2	所	2,540
	維持管理等	2	所	1,519
	その他 ( )			
取組成果	<p>障害者交流館の維持管理については、業務委託をしている杉並区障害者団体連合会と連携して行っています。障害者交流館には、福祉事務所や区民集会所等、併設している施設があることから、施設全体で利用者の安全安心と快適性の確保に努めています。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>清掃業務や機械設備等の人件費増に伴い、令和5年度においては、施設保守管理委託の増加を見込んでいます。なお、光熱費については、前年度と同程度の実績で推移しています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>利用者の安全で快適な環境を確保するため、業務委託している杉並区障害者団体連合会と連携をして、施設の保守管理に努めています。</p> <p>高円寺障害者交流館の利用率は、50%程度である一方、和田障害者交流館については、20%程度で推移していることから、今後、施設の有効活用等について検討します。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>障害者のための集会施設として、利用者に影響がある箇所を中心に、引き続き計画的に改修や設備の交換等の修繕を行っていきます。</p>	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00219 )

事務事業名称	障害者施設運営	款	04	項	01	目	06	事業	004	整理番号	210
現担当課名	障害者生活支援課	係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	210	
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援					予算事業区分	既定事業				
事業開始											
令和 4年度担当課名	障害者生活支援課					事業評価区分	その他簡易な評価				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区が有する障害者福祉施設等（生活圏を除く）	根拠法令等	( 1 ) 契約事務規則 ( 2 ) 会計事務規則
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	効率的かつ効果的な事務事業の執行による障害者福祉施設の側面支援、障害者福祉行政の充実を図る。	活動指標	指標名（ 1 ） 指標説明 指標名（ 2 ）
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	施設運営に必要な事務用品、書籍、印刷用品を購入する。 各園の事業運営や維持管理に含めることが難しい運営に必要な諸事務経費（区有施設である「あけぼの作業所」の樹木剪定、区立障害者施設職員の腸内細菌検査、研究会負担金、給食費等の口座振替等）の支援を行う。	指標説明	成果指標 指標名（ 1 ） 指標説明 指標名（ 2 ） 指標説明

## 指標、総事業費 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1								90.9
活動指標 ( 2 )	2								
成果指標 ( 1 )	3								
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	7,140	6,269	5,515	7,989	7,261	9,269	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	1,900	3,091	2,248	918	2,328	2,378	令和 4年度においては、令和 5年度から実施する区立障害者施設における給食費等の口座振替の準備のため、口座振替依頼書の印刷やシステム開発を行ったことから、事業費が31%増大しました。
	上記以外の職員	7 千円	1,814	1,814	1,838	735	1,103	736	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	10,854	11,174	9,601	9,642	10,692	12,383		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	10,854	11,174	9,601	9,642	10,692	12,383	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 210

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	樹木委託管理			1,782
	光熱水費 (旧区立作業所) の支出			2,500
	一般購入・施設修繕等			1,496
	腸内細菌検査委託			224
	その他 ( 研究会負担金、報償費、事務費ほか )			1,259
取組成果	各施設運営に必要な事務用品、書籍、印刷用品を購入したほか、区有施設の旧区立作業所の樹木剪定や区立障害者施設職員の腸内細菌検査を業務委託により実施しました。また、令和4年度においては、令和5年度から実施する区立障害者施設における給食費等の口座振替の準備のため、口座振替依頼書の印刷やシステム開発を行いました。			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>区立障害者通所施設の給食費等の徴収方法について、令和5年4月に口座振替による徴収を開始し、利用者等の利便性の向上を図りました。</p> <p>また、今年度から樹木剪定業務の対象施設に障害者施設を追加しました。</p> <p>このほか、杉並区内の公立・民間の障害児者施設職員が経験年数や職層を越え、共に学び合いながら人材育成を行うため、障害者福祉人材育成委員会を開催し、施設間体験研修などに取り組みました。更に、医療的ケアが必要な重度身体障害者の受入れ方法等を検討するため、医療的ケア検討会を開催しました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>区有施設はいずれも建物の老朽化が進んでおり、小規模修繕に加え設備の改修が増えていることから、建物を貸し付けている法人と今後の施設改修について、調整を図っていきます。</p> <p>また、医療的ケアを必要とする障害者が増加傾向にあることから、適時、医療的ケア検討会を開催し、区立施設での検討を行っていきます。</p> <p>福祉人材育成の取組については、区に事業者支援を担当する組織を置き、公民かかわらず地域の障害福祉サービス事業所等が連携し、質の高いサービスを安定的に提供できる体制づくりを推進します。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善) ・実施主体の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>各施設の修繕箇所に優先順位をつけながら、計画的に修繕等を実施していきます。</p> <p>福祉人材の育成については、令和6年度に新たに担当組織を設置し、取組を強化します。</p> <p>また、来年度から障害者施設への介護ロボット等の導入検討を開始することなどにより、予算を拡充する予定です。</p>	



# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00220 )

事務事業名称	すぎのき生活園の維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	005	整理番号	211
現担当課名	障害者生活支援課		係名	すぎのき生活園			連絡先電話番号	3399-8953		昨年度整理番号	211		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和55年度												
令和 4年度担当課名	障害者生活支援課							事業評価区分	施設維持管理				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	すぎのき生活園の利用者	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 杉並区立すぎのき生活園条例
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	利用者が安全で快適に過ごせるよう施設の維持管理を行う。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	利用者が安全で快適に過ごせるようにするため、施設の清掃や諸設備の保守点検、修繕などを実施する。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度 対計画比 (%)	令和 4年度 予算執行率 (%)	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画			
活動指標 ( 1 )	1								98.8	
活動指標 ( 2 )	2									
成果指標 ( 1 )	3									
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	25,704	27,841	26,788	31,113	30,748	31,479	特記事項 光熱水費の高騰により前年度比約22%増となり、事業全体で約13%増となりました。		
人件費	常勤職員分 ( 再任用含 )	6 千円	16,588	16,647	14,763	15,680	13,392			13,392
	上記以外の職員	7 千円	8,344	8,344	8,453	7,350	7,356			7,356
総事業費 ( 5+6+7 )	8 千円	50,636	52,832	50,004	54,143	51,496	52,227			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0			0
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0			0
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0			0
	特定財源計 ( 9+10+11 )	12 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 ( 8-12 )	13 千円	50,636	52,832	50,004	54,143	51,496	52,227			

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 211

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	施設保守管理委託	1	所	14,712
	光熱水費の支出	1	所	11,345
	維持管理等	1	所	4,691
	その他 ( )			
取組成果	<p>すぎのき生活園ではすぎのき棟が築43年、けやき棟が築30年が経過し、施設の設備や機器に不具合が生じており、利用者への影響を考慮し段階的に修繕を行っています。4年度にはすぎのき棟のトイレの全面改修工事を実施しました。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>関係課等とも協議しながら、老朽化に対応した施設管理に努めています。今年度はけやき棟のエレベーターの蓄電池交換やけやき棟厨房の漏水修理など修繕等を実施します。</p>
事業の方向性・改善策	<p>すぎのき生活園は、すぎのき棟とけやき棟に分かれており、特にすぎのき棟の築年数は42年を迎え、老朽化が進んでいます。利用者の障害特性から、運営しながらの改修や運営の一時休止は困難であるため、改修期間中の仮設建物での運営など用地確保と改修方法等の検討を進めていきます。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>今後の施設改修を見据えつつ、利用者の安全確保の観点から必要な維持管理を行います。なお、改修計画が具体化した場合は、事業コストが大きく変動する見込みです。</p>	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00221 )

事務事業名称	こすもす生活園の維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	006	整理番号	212
現担当課名	障害者生活支援課		係名	こすもす生活園			連絡先電話番号	3317-9312		昨年度整理番号	212		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成 5年度												
令和 4年度担当課名	障害者生活支援課							事業評価区分	施設維持管理				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	こすもす生活園の利用者	根拠法令等	( 1 ) ( 2 )	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適に過ごせるよう施設の維持管理を行う。	活動指標	指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	利用者が安全で快適に過ごせるようにするため、施設の清掃や諸設備の保守点検、修繕などを実施する。	指標説明	成果指標	指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度 対計画比 (%)	令和 4年度 予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画		
活動指標 ( 1 )	1								95.4
活動指標 ( 2 )	2								
成果指標 ( 1 )	3								
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	8,630	9,122	8,582	9,901	9,443	17,673	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	15,420	14,096	15,430	13,595	11,812	15,618	
	上記以外の職員	7 千円	1,088	1,088	1,103	1,103	1,103	1,103	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	25,138	24,306	25,115	24,599	22,358	34,394		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	25,138	24,306	25,115	24,599	22,358	34,394	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 212

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	施設保守管理委託			4,209
	光熱水費の支出			3,110
	維持管理等			2,124
	その他 ( )			
取組成果	<p>こすもす生活園は開設から30年近く経過した施設であり、設備機器の老朽化が顕著となっており、適宜、機器の修繕や交換を行い、施設の安全管理に努めています。令和4年度は室外機、厨房の床、トイレの便座修理などを行いました。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>開設から約30年近くが経過し施設の老朽化が目立ってきています。小規模修繕は随時対応し、大規模修繕は関係機関とも協議しながら計画的に行っています。なお、今年度はパッケージ型消防設備の入替を行います。</p> <p>また、令和5年10月から近隣の旧保育室を活用し、分室での活動を開始する予定のため、光熱水費や維持管理費が増加する見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>普段から施設設備等の不具合に対してチェックを行い、早期に修繕や交換を行っていくよう努めます。大規模な修繕については優先順位をつけながら計画的に実施していきます。</p> <p>利用者の障害重度化により、車椅子の大型化や医療的ケアの器具の増加等があり、より広いスペースが必要になってきています。分室も含めてスペースを確保しながら、安全で快適な環境を整え、施設設備等の不具合に対しては早期に修繕や交換などの対応に努めていきます。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>施設の老朽化により今後も修繕箇所は増加することが予想されますが、改修の必要性について精査するとともに、大規模な修繕については関係課と協議し優先順位をつけながら取り組んでいきます。</p>	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00222 )

事務事業名称	なのはな生活園の維持管理	款	04	項	01	目	06	事業	007	整理番号	213
現担当課名	障害者生活支援課	係名	なのはな生活園				連絡先電話番号	3335-0415		昨年度整理番号	213
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援						予算事業区分	既定事業			
事業開始	平成 9年度										
令和 4年度担当課名	障害者生活支援課						事業評価区分	施設維持管理			

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	なのはな生活園の利用者	根拠法令等	( 1 ) ( 2 )	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適に過ごせるよう施設の維持管理を行う。	活動指標	指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	利用者が安全で快適に過ごせるようにするため、施設の清掃や諸設備の保守点検、修繕などを実施する。	指標説明	成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度対計画比 (%)	令和 4年度予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画		
活動指標 ( 1 )	1								91.4
活動指標 ( 2 )	2								
成果指標 ( 1 )	3								
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	11,701	13,448	12,638	14,464	13,216	15,519	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	15,420	14,096	15,347	15,680	13,974	13,392	
	上記以外の職員	7 千円	1,088	1,088	1,103	1,103	1,103	1,103	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	28,209	28,632	29,088	31,247	28,293	30,014		
財源	受益者負担分	9 千円	3	5	3	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	3	5	3	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	28,206	28,627	29,085	31,247	28,293	30,014	



# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 213

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	施設保守管理委託			
	光熱水費の支出			5,466
	維持管理経費等			1,991
	その他 ( )			
取組成果	<p>なのはな生活園では老朽化による故障から、毎年交換工事が続いており今年度も1回行いました。ガス給湯器の故障及び、老朽化により2台のガス給湯器を取り替えました。その他、施設整備及び備品等の不具合には、修繕や買替等により早期対応しています。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>開設以来23年が経過しており、施設設備の老朽化による取替工事を行っています。利用者の健康管理や体調面への配慮から、過ごしやすい室内の環境整備が求められるため、設備の故障には迅速に対応しています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>施設の老朽化が進んでいることから、日頃の管理や定期的な点検や修繕を行っていきます。今後も障害が重い利用者の増加が予想されます。安全で安定したサービスを提供するため、新たな介護機器の導入も含め、施設環境の整備の向上について検討していきます。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>施設の老朽化により、今後も修繕箇所は増加することが予想されますが、改修の必要性について精査するとともに、大規模修繕については関係課と協議し優先順位をつけながら取り組んでいきます。</p>	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00231 )

事務事業名称	障害者入所・通所施設の整備				款	04	項	01	目	07	事業	004	整理番号	223	
現担当課名	障害者生活支援課		係名	管理係		連絡先電話番号	2277		昨年度整理番号	223					
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成11年度	実行計画事業	目標	05	施策	16	計画事業	01							
令和 4年度担当課名	障害者生活支援課								事業評価区分	一般					

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	障害者通所施設を整備する社会福祉法人	根拠法令等	( 1 ) 社会福祉法第6条 ( 2 ) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条第7項
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	重度障害者の日中活動の場を確保するため、生活介護事業等を行う通所施設の整備を進め、障害者の豊かな地域生活を実現する。	活動指標	区内重度障害者通所施設の数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	区有地等を活用し、社会福祉法人が整備する障害者通所施設に対し、整備費を助成することにより、重度障害者の日中活動の場を確保する。 令和3年度末現在、区内では重度障害者の通所施設10施設 (知的5、身体5・うち7施設は民間施設) を運営している。	指標名 ( 1 )	重度障害者が通所できる施設の数
		指標説明	
成果指標		指標名 ( 1 )	区内重度障害者通所施設の受入者数
		指標説明	重度障害者が通所できる施設の定員【行政】
		指標名 ( 2 )	
指標説明			

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 所	10	10	10	10	10	10	100.0	100.0
活動指標 ( 2 )	2								
成果指標 ( 1 )	3 人	241	241	241	241	241	241	100.0	
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	40,117	40,126	40,031	39,262	39,261	66,947	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	5,952	5,102	0	2,282	2,740	1,594	令和5年度以降に、新規開設予定の施設に対する建設費等の補助を開始するため、令和5年度予算額が増額となっています。
	上記以外の職員	7 千円	2,177	2,177	2,205	2,205	2,942	1,839	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	48,246	47,405	42,236	43,749	44,943	70,380		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (8-12)	13 千円	48,246	47,405	42,236	43,749	44,943	70,380		

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 223

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	すだちの里杉並・運営法人への償還金助成		1	所
	マイルドハート高円寺・運営法人への償還金助成	1	所	21,488
	その他 ( 障害者施設建設 (久我山一丁目都有地) 事業者との調整 など )			0

取組成果

これまでに建設された区内障害者通所施設等のうち2所について、建設時に事業実施法人が借り入れた借入金償還金の助成を行いました。  
また、久我山一丁目都有地を活用した重度知的障害者通所施設等の整備について、令和7年4月の開設に向けて、事業実施法人と設計等の調整を行ったほか、法人が行う国への補助申請や東京都との調整、施設整備に関する地域説明等の支援を行いました。

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>重度障害者の施設通所ニーズが高まる中、特別支援学校の在学数から将来の需要を予測し、計画的に施設整備を進めることが必要です。また、通所時間の短縮による利用者の負担軽減を図るとともに、今後ドライバー不足から送迎車両の配車困難が予想されることに備えて、施設の地域偏在の解消も課題となります。これら課題の解消のために、中長期の施設整備の方針や考え方を整理する必要があります。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>今般の物価高騰の状況について、久我山一丁目都有地を活用した施設整備計画への影響は顕在化していませんが、今後、建築資材の不足・高騰が懸念されます。現段階では設計変更や資材の事前手配を行うなどの対策を事業者と調整して進めていますが、計画が遅延しないように今後も物価等の動向を注視し、東京都及び実施法人との連絡・調整を密に行う必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>久我山一丁目都有地を活用した重度知的障害者通所施設 (グループホーム等併設) については、計画と設計 (基本) を進めました。資材不足と建築資材高騰に対応するために、実施法人と一部設計変更を調整しましたが、令和7年4月開設に向けて、遅れなく進行しています。 また、医療的ケアを必要とする利用者の増等により介護スペースの確保が課題となっている区立こすもす生活園について、近隣の区有建物を利用して「こすもす生活園分室」として活動室の拡張工事を行い、令和5年10月使用開始を目指します。</p>
事業の方向性・改善策	<p>久我山一丁目都有地を活用した重度知的通所施設について、令和7年4月開設に向けて、引き続き東京都及び実施法人と調整しつつ事業を進めます。また、利用者の増加が予測されている重度身体障害者通所施設の新設のため、用地の確保等の検討を行います。 これと同時に、既存施設の老朽化が進んでいることから、計画的に長寿命化改修等を行っていきます。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善) ・実施主体の見直し・対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>こすもす生活園分室の整備に係る経費の皆減はあるものの、(仮称)久我山生活園の開設に向けた整備費等の補助により、予算の増加を見込んでいます。</p>	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00233 )

事務事業名称	障害者グループホーム等の整備				款	04	項	01	目	07	事業	023	整理番号	224
現担当課名	障害者生活支援課			係名	管理係			連絡先電話番号	2277		昨年度整理番号	224		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援								予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成22年度	実行計画事業	目標	05	施策	16	計画事業	01	主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
令和 4年度担当課名	障害者生活支援課								事業評価区分	一般				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	障害者グループホームを建設・整備する法人及び物件所有者等	根拠法令等	( 1 ) 社会福祉法第6条 ( 2 ) 杉並区障害者グループホーム防火設備整備費補助金交付要綱ほか
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	障害者グループホームの建設に際して防火設備の整備に対し助成を行うことにより、入居する障害者の安全を確保し、障害者が地域で安全に暮らせるようにする。 ○障害者グループホーム建設を検討している物件所有者や法人から相談、開設手続等を支援することで障害者グループホームの開設を促進する。	活動指標	重度障害者グループホーム建設助成数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	障害者グループホームを整備・運営する法人等に対し、防火設備の整備に要する経費の一部を助成する。また、東京都の補助対象外である精神障害者グループホーム設備整備にかかる経費の一部を、整備する社会福祉法人等に対し助成する。 ○障害者グループホームの開設を検討する物件所有者や運営事業者から相談を受けてマッチングを行うとともに、開設までに必要な手続等を支援することで、障害者グループホームの開設を促進する。	指標名 ( 1 )	重度障害者グループホーム建設助成数
		指標名 ( 2 )	障害者グループホーム防火設備整備助成数
		指標説明	防火設備の設置に助成した施設数
		成果指標	重度障害者グループホームの整備実績
		指標名 ( 1 )	重度障害者グループホーム定員数【社会】
		指標名 ( 2 )	グループホームの防火設備整備率
		指標説明	整備済みのグループホーム ÷ 区内グループホーム【社会】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度		
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)		
活動指標 ( 1 )	1 所	0	0	0	0	0	0	0.0	68.4		
活動指標 ( 2 )	2 所	0	2	6	2	5	2	250.0			
成果指標 ( 1 )	3 人	43	43	43	43	43	43	100.0			
成果指標 ( 2 )	4 %	100	100	100	100	100	100	100.0			
事業費	5 千円	403	10,062	9,207	7,353	5,033	8,385	特記事項			
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	3,316	3,401	0	1,736	2,142	1,544	コロナ禍の影響で停滞していた障害者グループホームの開設が令和3年度に一時的に増加しましたが、令和4年度には昨年並みの開設件数となったため、前年度より予算減となっています。また、火災報知機等が設置済みの物件が複数あったことなどから申請件数が減少したため、執行残が発生しました。		
	上記以外の職員	7 千円	1,451	1,451	1,470	1,470	2,280	1,471			
総事業費 (5+6+7)	8 千円	5,170	14,914	10,677	10,559	9,455	11,400				
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0			
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0			
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0			
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0			
差引：一般財源 (8-12)	13 千円	5,170	14,914	10,677	10,559	9,455	11,400				

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 224

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	防火設備整備助成	5	所	3,538
	「親なき後」の障害者への住まいの支援			148
	障害者グループホーム開設相談支援事業			1,347
	その他 ( )			
取組成果	<p>区内障害者グループホームの安全性を向上させるため、新規開設の5所に対して、防火設備整備に要する経費の助成を行いました。</p> <p>また、より質の高い障害者の住まいの確保・提供のため、施設開設の相談から運営開始までを一貫して支援する「障害者グループホーム開設相談支援事業」を、令和4年10月から開始し、新規で施設開設を考えている事業者等から10件以上の相談を受けました。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>ここ数年、知的及び精神の障害を対象とした障害者グループホームは開設されていますが、身体障害を対象とした障害者グループホームの開設が無いことが課題です。身体障害者を対象とした場合には、まず、生活支援を行う支援員の確保が困難であることがあります。加えて、玄関スロープや廊下幅を広く取るなどのバリアフリー化が必要で、建物に対する要求も高いことが要因です。このため、既存の一般住宅を借り上げて改修する方法が採れず、新築の場合もスロープ設置に伴う土地面積が大きくなるなど、コスト面からも開設が進まない状況です。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>障害者グループホームの開設が進んでいますが、入居者の生活支援が十分に提供されないなど、質の確保が課題となっています。福祉事業の経験が無い新規事業者が参入し、十分な生活支援が行えないことから利用者が定着しない事例もあることから、開設時の相談・支援で、生活支援の必要性を説明し、事業者の理解を得ることが重要となります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和5年度も昨年度から繰り越した事案も含めて、建築物の法適合に関する相談や現地調査、運営事業者の認可手続きの助言、認可後の利用者募集に関する相談などを受けています。グループホームセミナーの相談会でも物件に関する相談が寄せられ、10案件について相談や現地調査を継続しています。</p> <p>また、令和5年度は既に3軒の新規グループホームに防火設備の助成を行い、5軒の補助に関する問い合わせを受けています。障害者グループホームの安全性担保と同時に、開設促進の一助になっています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>令和4年度から開始した、障害者グループホーム開設相談支援事業などにより、今後も障害者の住まいの確保に取り組んでいきます。また、障害者施策課が実施している障害者グループホームネットワーク事業との連携を行うことで、効果的に障害者グループホームの質の維持向上につなげていきます。</p> <p>知的・精神障害者を対象としたグループホームの開設は進む一方、ここ数年、身体障害や重度障害者に対応したグループホームの新規開設はありません。今後の需要を踏まえながら、不足が見込まれる障害種別のグループホームの整備が進むよう、新たな補助制度の創設を含め、開設促進策の検討を行います。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>障害者グループホーム開設相談支援事業について、令和4年度は、想定を超えた数の相談が寄せられました。また、相談事案一件当たりの相談や現地確認等支援も想定を超えた回数となり、次回相談までの時間も長くなっています。次回相談予約までの長さは開設の遅れにつながります。このため、これまでの相談事例を参考に相談件数や回数の想定を見直し、連続的に必要な相談や支援に対応することでグループホームがスムーズに開設されるよう、委託費の増額を見込んでいます。</p> <p>防火設備の補助については今年度予算不足が見込まれますが、過去の実績も踏まえて6年度の必要額を算定します。</p>	



# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00311 )

事務事業名称	障害者施設入所者等に対する健診			款	04	項	05	目	01	事業	003	整理番号	309
現担当課名	保健サービス課		係名	管理係		連絡先電話番号	4526		昨年度整理番号	307			
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と地域生活の支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成21年度												
令和 4年度担当課名	保健サービス課							事業評価区分	一般				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区内の障害者施設等の入所者・通所者で他に健康診査の機会のない区民	根拠法令等 ( 1 ) 地域保健法 ( 2 ) 杉並区障害者施設等健康診査実施要領
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	民間の健診機関では対応困難な障害者に対して健康診査の機会を提供し、障害者の健康管理に役立つ指導を実施する。	活動指標 指標名 ( 1 ) 健診受診者数 指標説明 指標名 ( 2 ) 受診施設数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	荻窪、高井戸、高円寺の各保健センターで施設入所者・通所者の健康増進や自己管理を目的に必要な検査等を行い、その結果に基づいて、個別及び施設の健康管理責任者に説明や指導を行う。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 健診受診者数対前年度比【行政】 指標説明 指標名 ( 2 ) 受診施設数対前年度比【行政】 指標説明

## 指標、総事業費 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 人	342	370	299	300	270	300	90.0	74.7	
活動指標 ( 2 )	2 所	21	21	20	20	20	20	100.0		
成果指標 ( 1 )	3 %	73.7	108.0	87.4	100.0	90.3	100.0	90.3		
成果指標 ( 2 )	4 %	95.5	100.0	95.2	100.0	100.0	100.0	100.0		
事業費	5 千円	6,779	9,096	6,649	8,798	6,573	8,171	特記事項		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	8,912	8,163	7,892	11,904	6,283	3,908	受診者数の減少により、血液等検査委託・消耗品費等予算執行残となっています。	
	上記以外の職員	7 千円	1,451	1,814	1,838	1,470	1,839	1,471		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	17,142	19,073	16,379	22,172	14,695	13,550			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (8-12)	13 千円	17,142	19,073	16,379	22,172	14,695	13,550			

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 309

	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
主な取組	医師及び看護師等謝礼の支出	3	所	4,592
	血液等検査委託	3	所	893
	健診用品、検査材料の購入	3	所	354
	心電計保守点検委託、心電計賃貸借	3	所	676
	その他 ( 郵券の購入 )			58
取組成果	障害者施設健診は、3保健センター ( 荻窪、高井戸、高円寺 ) で予定受診施設数すべてを実施し、民間の健診機関では対応困難な障害者に対して健康診査の機会を提供できました。			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	受診施設数は目標を達成していますが、受診施設は毎年ほぼ同じです。受診者数が減少している施設があるものの、医師及び看護師等への謝礼等の固定経費がかかるため、受診者一人あたりのコストが約54,000円と高コストであることから、費用対効果に課題があります。
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 ( 年度末までの見込含む )	予定受診施設は計画通り実施していますが、受診者数は減少傾向のままです。医師及び看護師等への謝礼等の固定経費の支出はありますが、血液等検査委託費に予算執行残が生じる見込みです。
事業の方向性・改善策	民間の健診機関では対応困難な障害者の健診の機会を確保する事業であり、一定の成果を上げています。受診者一人あたりのコストが高コストであることが課題ですが、かかりつけ医等で健診を受けることが困難な障害者も一定数存在しており、障害者団体からは受診枠の拡大の要望が出されています。保健センターでの実施が妥当な状況です。

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	健診の実施状況に合わせた適正な予算により、成果を維持していきます。	